

○川西市参画と協働のまちづくり推進条例

平成22年6月28日

条例第16号

改正 平成22年12月22日条例第25号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第7条)

第2章 行政活動への参画(第8条—第11条)

第3章 市民公益活動への支援及び市民等との協働(第12条—第14条)

第4章 推進方策(第15条・第16条)

第5章 雑則(第17条)

付則

私たちのまち川西は、先人のたゆまぬ努力の積み重ねにより、「利便性」と「豊かな自然」を兼ね備えた、人々が暮らしやすい成熟した都市へと発展してきました。

また、全国的に都市化が進み、近隣社会の連帯感や郷土意識の希薄化が懸念される中で、本市では昭和50年代から小学校区を基本的なエリアとするコミュニティづくりが始まるなど、市民による多様な地域活動も長年にわたり培われてきました。

一方、平成7年に発生した阪神・淡路大震災や平成10年の特定非営利活動促進法制定をきっかけに、ボランティアやNPO(民間非営利組織)による市民活動も活発になりました。

こうした中、地方分権の進展、人口の減少、少子・高齢化社会の到来、人々の価値観の多様化など、時代が大きく変化しており、市民等の行政活動への参画や自主的なまちづくり活動がこれまで以上に求められています。

市の政策は、議会と市長がそれぞれの役割と責任に基づいて決定し、推進するものですが、市民、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者や市など様々なまちづくりの主体が、対話と情報共有による信頼関係を大切にしながら、自らの役割を担い、お互いを補完し合うことで、さらに個性的で魅力あふれるまちづくりが実現できるものです。

このような認識のもと、かけがえのない“ふるさと川西”をさらに住みよいまちにしていくため、この条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市における参画と協働のまちづくりを推進するための基本理念及

び基本的事項を定めるとともに、市民、市民公益活動団体、事業者及び市の役割を明らかにし、それぞれの適切な役割分担の下に、特性や強みを生かしながら、参画と協働のまちづくりの推進に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 参画 市民、市民公益活動団体及び事業者が市の政策等の立案、実施及び評価の過程に主体的にかかわって意見や提言を行うことをいう。
- (2) 協働 地域の課題解決に向けて、市民、市民公益活動団体、事業者及び市がそれぞれの役割に基づき、互いの立場を尊重し、相互に補完し合うことをいう。
- (3) 市民 市内に住所を有する者、市内の事務所又は事業所に勤務する者及び市内の学校に在学する者をいう。
- (4) 市 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会、固定資産評価審査委員会、上下水道事業管理者、病院事業管理者及び消防長をいう。
- (5) 行政活動 総合計画の実現において、市が実施する各種の活動をいう。
- (6) 市民公益活動 自発的及び自主的に行われる市民その他不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動をいう。ただし、次に掲げるものを除く。
 - ア 専ら直接的に利潤を追求することを目的とする経済活動
 - イ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする活動
 - ウ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする活動
 - エ 特定の公職(公職選挙法(昭和25年法律第100号)第3条に規定する公職をいう。以下同じ。)の候補者(当該候補者になろうとする者を含む。)若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動
- (7) 市民公益活動団体 自治会、コミュニティ、ボランティア、NPOなど、前号に掲げる活動を行う団体をいう。
- (8) 事業者 市内で事業を営むものをいう。

(基本理念)

第3条 市民、市民公益活動団体及び事業者(以下「市民等」という。)並びに市は、次に掲げる基本理念にのっとり、参画と協働のまちづくりを推進するものとする。

- (1) 公正性及び透明性を確保し、互いの情報を共有し合うこと。
- (2) 自らの役割と責務を理解し、相互に補完し合うこと。
- (3) 対話を基本とし、互いの自主性及び主体性を尊重し、互いに協力し合うこと。

(市民の役割)

第4条 市民は、基本理念にのっとり、自らがまちづくりの主体であることを認識し、地域社会における生活及び多様な社会経験を生かし、自主的に参画と協働のまちづくりに参加するよう努めるものとする。

(市民公益活動団体の役割)

第5条 市民公益活動団体は、基本理念にのっとり、地域のつながり、自らの持つ知識及び専門性を生かし、様々なまちづくりの主体と交流し、又は連携しながら参画と協働のまちづくりの推進に努めるものとする。

(事業者の役割)

第6条 事業者は、基本理念にのっとり、参画と協働のまちづくりへの理解を深め、地域社会を構成する一員として自主的に参画と協働のまちづくりに参加するよう努めるものとする。

(市の責務)

第7条 市は、基本理念にのっとり、市民等と連携し、参画と協働のまちづくりの推進に努めなければならない。

- 2 市は、政策等の立案、実施及び評価の過程において、その内容、効果等を市民等に分かりやすく説明する責務を有する。
- 3 市は、市民等からの市政に関する質問、意見、要望等に対し、適切かつ誠実にこたえる責務を有する。

第2章 行政活動への参画

(参画機会の確保)

第8条 市は、行政活動における市民等の参画の機会を確保するよう努めなければならない。

(意見提出手続)

第9条 市は、次に掲げる事項についての案を作成しようとするときは、素案及びこれに関連する資料をあらかじめ公表し、広く市民等(当該案件に係る利害関係人を含む。)に意見の提出を求める手続(以下「意見提出手続」という。)を行うものとする。ただし、法令等により同様の手続が定められている場合は、この限りでない。

- (1) 市の基本構想、基本計画その他基本的な事項を定める計画等の策定又は改廃
 - (2) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例の制定又は改廃
 - (3) 広く市民等に適用され、市民生活又は事業活動に重大な影響を及ぼす条例の制定又は改廃
 - (4) 公共の用に供される大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定又は変更
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、市が必要と認めるもの
- 2 次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の規定を適用しない。
- (1) 迅速又は緊急を要するもの
 - (2) 軽微なもの
 - (3) 法令等の規定による基準に従って作成するもの
 - (4) 市の内部の事務処理等に関するもの
 - (5) 市税等の賦課徴収及び分担金、使用料、手数料等の徴収に関するもの
- 3 市は、第1項の規定により提出された意見に対する市の検討結果を公表しなければならない。
- 4 前3項に定めるもののほか、意見提出手続に関し必要な事項は、規則で定める。
(附属機関等)

第10条 市は、附属機関等(地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき設置する審議会その他の附属機関及び市民等が参画して構成する組織をいう。以下同じ。)の委員を選任するときは、附属機関等の設置目的を達成するために必要な専門性の確保、男女比率、年齢構成、地域性等を考慮し、幅広い分野から人材を登用するとともに、委員の公募等により市民等の多様な意見が反映されるよう努めるものとする。

- 2 市は、附属機関等を設置したときは、その名称、目的、委員名簿、委員の選出基準等を公表するものとする。
- 3 市は、附属機関等の会議(以下「会議」という。)を公開するものとする。ただし、法令等の規定により公開しないことと定められている場合その他市が別に定めるものについては、会議の全部又は一部を公開しないことができる。
- 4 市は、会議を開催しようとするときは、事前に会議名、開催の日時、場所、傍聴等の手続について公表するものとする。ただし、緊急に会議を開催する必要があるときは、この限りでない。
- 5 市は、会議の終了後、速やかに会議録を調整し、公表するものとする。ただし、川西市情報公開条例(平成4年川西市条例第8号)第7条第1項各号に規定する非公開情報について

ては、公表しない。

(その他の措置)

第11条 市は、前2条に定めるもののほか、政策等の立案、実施及び評価の過程において、広く市民等の意見及び提案を得るため、適切かつ効率的な措置を講ずるものとする。

第3章 市民公益活動への支援及び市民等との協働

(市民公益活動への支援及び市民等との協働)

第12条 市は、市民公益活動団体の自主性及び自立性を尊重し、その活動を促進するため、市民公益活動に対して必要な支援に努めるとともに市民等との協働を推進するものとする。

(基本計画の策定)

第13条 市長は、市民公益活動を支援するとともに市民等との協働を推進するため、基本計画を策定し、総合的かつ計画的な施策を実施するものとする。

(基本施策)

第14条 市は、市民公益活動を支援するとともに市民等との協働を推進するため、次に掲げる施策を講じなければならない。

- (1) 参画と協働のまちづくりに関する情報を収集し、様々な活動主体が情報共有できる仕組みに関すること。
- (2) 参画と協働のまちづくりの担い手を発掘し、育成し、及び参画と協働のまちづくりを支える人材を支援する仕組みに関すること。
- (3) 市民公益活動及び協働の重要性についての認識を深めるための機会を確保すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市民公益活動を支援するとともに市民等との協働を推進するため必要があると市が認める事項

第4章 推進方策

(推進会議の設置)

第15条 市長は、参画と協働のまちづくりの推進に関する事項を調査審議するため、川西市参画と協働のまちづくり推進会議(以下「推進会議」という。)を置く。

- 2 推進会議は、委員10人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱等を行うものとする。
 - (1) 学識経験者

- (2) 市民公益活動団体の代表
 - (3) 市民
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 前各項に定めるもののほか、推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(年次報告)

第16条 市長は、毎年度、参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況について、公表するものとする。

第5章 雑則

(委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

付 則

この条例は、平成22年10月1日から施行する。

付 則(平成22年12月22日条例第25号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

川西市上下水道事業経営審議会の会議公開に係る傍聴要領

(趣旨)

第1条 この要綱は、川西市上下水道事業経営審議会（以下「審議会」という。）の会議の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴手続)

第2条 会議を傍聴しようとする者（以下「傍聴人」という。）は、開催場所において、会議を傍聴したい旨係員に申し出た上、傍聴席に着かなければならない。

(傍聴できない者)

第3条 次の各号のいずれかに該当するものは、傍聴することができない。

- (1) 銃器その他危険な物を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 異様な服装をしている者
- (4) はり紙、ピラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を持っている者
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を持っている者
- (6) 前各号に定める者のほか、議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる物を持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第4条 傍聴人は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、審議会における言論に対して拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑しその他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、たすきの類をする等示威的な行為をしないこと。
- (4) 飲食をしないこと。
- (5) みだりに席を離れ又は不体裁な行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、審議会の秩序を乱し、又は妨害となるような行為はしないこと。

(撮影、録音等の禁止)

第5条 傍聴人は、写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に審議会の許可を得た者はこの限りでない。

(傍聴人の退場)

第6条 傍聴人は、傍聴を認めない旨の決定がなされたときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第7条 傍聴人は、係員の指示に従わなければならない

(違反に対する措置)

第8条 傍聴人がこの要領に違反するときは、審議会の会長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則

この要領は、平成16年2月16日から施行し、同日以後に開催する会議について適用する。

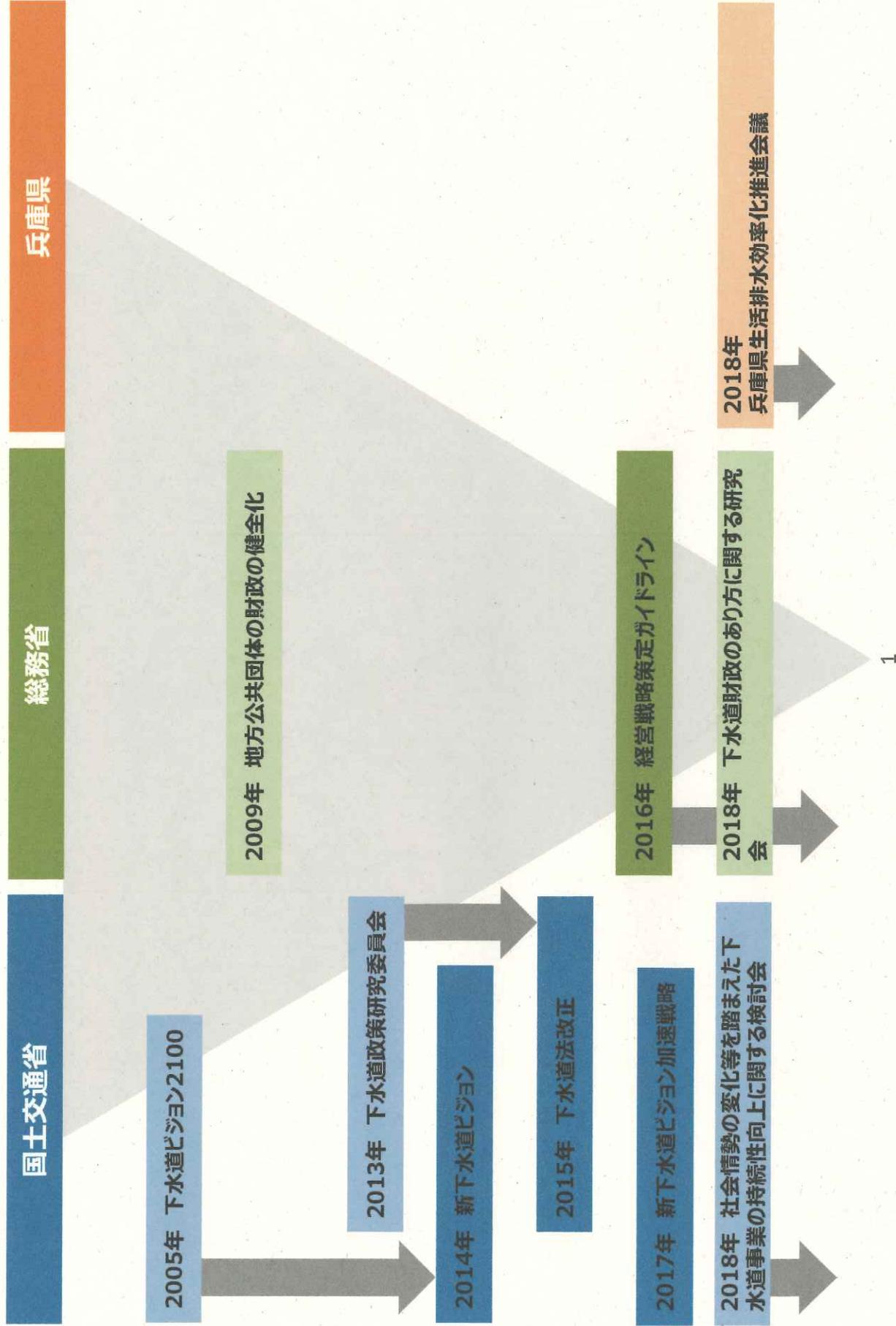
付 則

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

資料2

第1回 川西市上下水道事業経営審議会 資料編

下水道事業を取り巻く国・兵庫県の動向

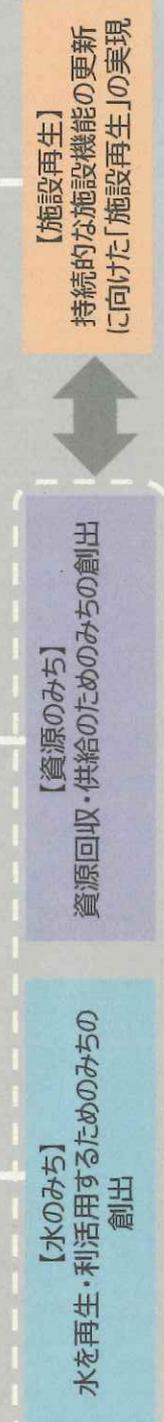


新下水道ビジョン - 策定の背景と使命 -

- 事業継続が危ぶまれる中、危機を好機に変えるための基本方針として新下水道ビジョンが策定された。
- 深刻度を増す下水道を取り巻く「人」「モノ」「カネ」の面での制約（例）ベテランの大量退職と体制縮小、施設の老朽化、投資縮小等）は深刻度を増しており、このままでは事業継続が困難となりかねない。

使命：『下水道の有する多様な機能をとおして、循環型社会への転換を図り、21世紀社会における美しく良好な環境の形成並びに安全な暮らしと活力ある社会の実現を目指すこと』

【循環のみち】



【循環のみち】を持続させ、進化

平成17年9月
下水道ビジョン2100

使命：『持続的発展が可能な社会の構築に貢献』

【持続的発展が可能な社会の構築に貢献】

【循環型社会の構築に貢献】
地域・世代を超えて水・資源・エネルギーを量的・質的に健全に循環させる

【強靱な社会の構築に貢献】
大規模災害時においても汚水の収集・処理、雨水の排除又は貯留といった機能を持続的に提供する

【新たな価値の創造に貢献】
下水道が有する膨大なストックや情報、水・資源・エネルギー等のポテンシャルを幅広い分野との連携を深めつつ活かす

【国際社会に貢献】
世界の水問題の解決に貢献し、国際的なビジネス展開により経済の持続的成長に貢献

平成26年7月
新下水道ビジョン

新下水道ビジョン加速戦略

▶ 新下水道ビジョン策定以降の下水道をめぐる社会情勢の変化等を踏まえ、国が5年程度で実施すべき6つの政策テーマ、下水道産業の育成、情報発信に関する2つの政策テーマを選定した。

背景

- ✓ 人口減少等に伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化は引き続き進行
- ✓ 官民連携や水ビジネスの国際展開など、国内外で新たな動き

趣旨

- ✓ 国が5年程度で実施すべき8つの重点項目及び基本的な施策をとりまとめ
- ✓ おおむね3年後を目途に見直しを行い、さらなるスパイラルアップを推進

新たに推進すべき項目

- I. 官民連携の推進
- II. 下水道の活用による付加価値向上

取組みを加速すべき項目

- III. 汚水処理システムの最適化
- IV. マネジメントサイクルの確立
- V. 水インフラ輸出の促進
- VI. 防災・減災の推進

より生産性の高い産業へと転換

VIII. ニーズに適合した下水道産業の育成

関連市場の維持・拡大

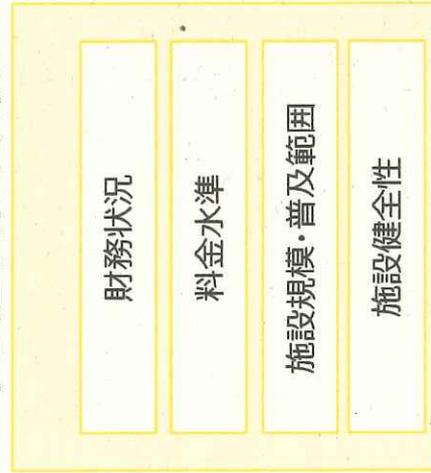
国民理解による各施策の円滑な推進

VII. 国民への発信

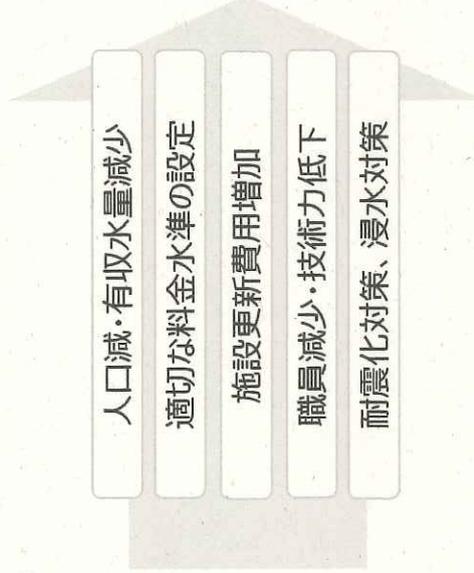
経営戦略 — 全体像 —

- ▶ 下水道事業の「現状と将来を可視化し」、「健全な水道・下水道事業を将来に引き継ぐために必要な施策」を検討する必要がある。

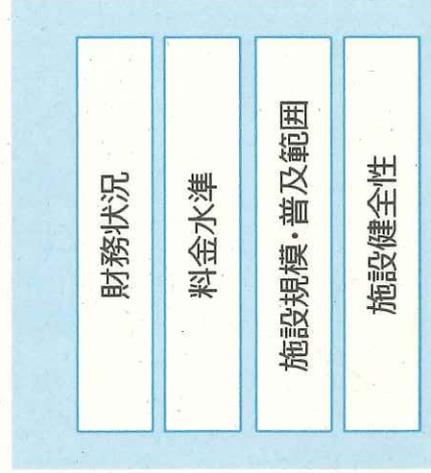
下水道事業の現状



事業に影響を与える要素（変数）



下水道事業の将来



現状分析：事業の現状を「健康診断」

- ▶ 経営の現状分析
- ▶ 類似事業体との比較（ベンチマーキング）

財政・投資計画

事業の将来がどうなるか見据える

- ▶ 財政計画と投資計画によるシミュレーション

改革施策（経営健全化策）の立案、実行

下水道使用料データ分析

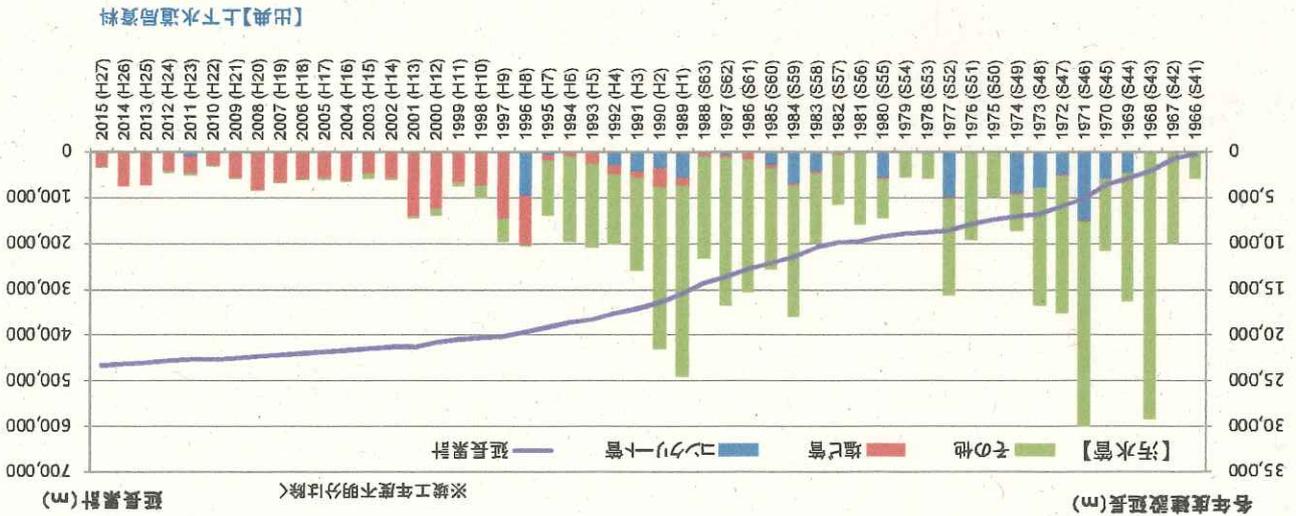
- 川西市の下水道料金は、口径別基本料金の設定はなく、使用量、用途の要素によって決定されている。

基本料金		水量料金		用途	
金額	1,200円	使用量	1mあたり	用途	1mあたり
		使用水量1mから20mまで	55円	浴場用	25円
		使用水量21mから40mまで	80円		
		使用水量41mから60mまで	115円		
		使用水量61mから200mまで	140円		
		使用水量201m以上	175円		

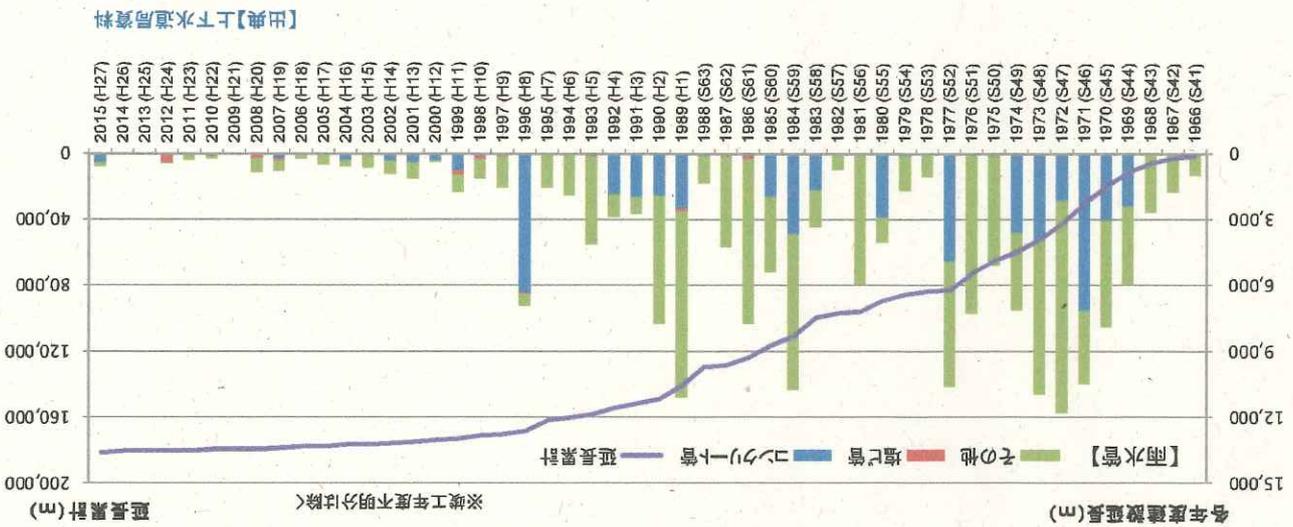
- 川西市の使用料収入・使用水量ともに減少傾向にあるが、使用件数が増加傾向にある。



■下水道（汚水管渠）の建設延長の推移（平成27年度末現在）



■下水道（雨水管渠）の建設延長の推移（平成27年度末現在）



■その他下水道関連施設（ポンプ場）（平成27年度末現在）

名称	構造	建設年度	延床面積㎡
前川雨水ポンプ場	RC造	1974(S49)	954.00
加茂雨水ポンプ場	RC造	1980(S55)	831.00
瑞願寺汚水中継ポンプ場	RC造	1987(S62)	281.00
水明台汚水中継ポンプ場	RC造	1973(S48)	99.00
大和第一汚水中継ポンプ場	S造	1968(S43)	25.00
大和第二汚水中継ポンプ場	S造	1968(S43)	29.00

【出典】上下水道局資料

平成29年度 川西市下水道事業の決算について

1. 業務量

区 分	平成29年度決算①	平成28年度決算②	比較①-②	増減率(%)
水洗化人口(人)	156,878	157,645	△ 767	△ 0.5
下水道処理人口普及率(%) (※)	99.6	99.6	0.0	0.0
年間有収水量(m ³)	15,103,922	15,038,150	65,772	0.4
主要な建設改良事業(円・税抜)	1,060,745,697	722,312,700	338,432,997	46.9
職員数(人)	29	29	0	0.0
供用開始告示面積(ha)	8.58	5.06	3.52	69.6

※下水道処理人口普及率=供用開始区域内人口÷行政区域内人口

2. 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円・%)

区 分	平成29年度決算①	平成28年度決算②	比較①-②	増減率
収益的収入	3,797,854,041	3,740,113,982	57,740,059	1.5
収益的支出	3,074,314,538	3,083,200,512	△ 8,885,974	△ 0.3
収益的収入支出差引	723,539,503	656,913,470	66,626,033	10.1

3. 資本的収入及び支出(税込)

(単位:円・%)

区 分	平成29年度決算①	平成28年度決算②	比較①-②	増減率
資本的収入	1,058,415,035	1,374,560,250	△ 316,145,215	△ 23.0
資本的支出	2,440,071,190	2,416,567,467	23,503,723	1.0
資本的収入支出差引	△ 1,381,656,155	△ 1,042,007,217	△ 339,648,938	△ 32.6

4. 主な事業等(税抜)

<雨水>

(単位:円)

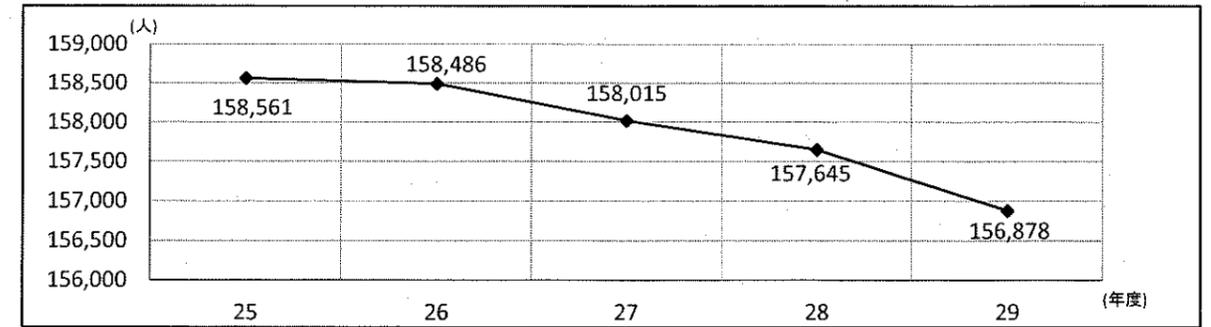
事業名	詳細	金額
設計測量等委託	東畦野管渠実施設計、加茂ポンプ場長寿命化設計、ストックマネジメント実施方針策定 等	22,926,000
調査委託	東多田3号家屋事後調査、東多田3号家屋事前調査一式	1,920,000
雨水管渠等築造工事	中央北地区、東多田3号 等 φ1350、U2000*1600~2200 L=275.6m	330,988,000
長寿命化工事	前川・加茂雨水ポンプ場、水明台1丁目外人孔蓋長寿命化工事	506,918,000
水道移設等補償	東多田3号安全灯支障移設一式	71,028
雨 水	合 計	862,823,028

<汚水>

(単位:円)

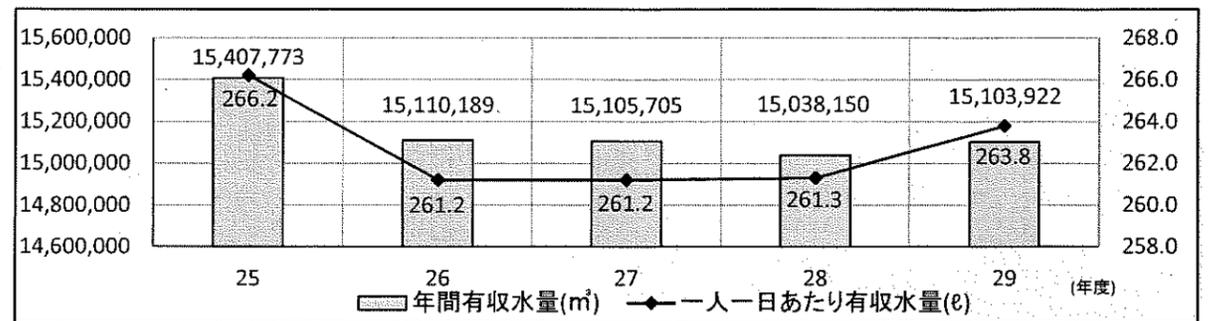
事業名	詳細	金額
設計測量等委託	多田処理分区長寿命化設計、川西第5処理分区外不明水調査、ストックマネジメント実施方針策定 等	28,749,000
調査委託	資材価格調査一式	451,000
汚水管渠等築造工事	西多田2号、中央北地区 等 φ150~250 L=359m	27,260,000
長寿命化工事	水明台1丁目外地内人孔蓋長寿命化工事	53,274,000
管渠更生工事	緑台5丁目、清和台東1丁目地内汚水管渠改良工事 φ200~250 L=150m	12,123,000
水道移設等補償		0
公共・特環下水道整備費	小 計	121,857,000
流域下水道建設費	猪名川流域下水道建設事業費負担金	76,065,669
汚 水	合 計	197,922,669

水洗化人口



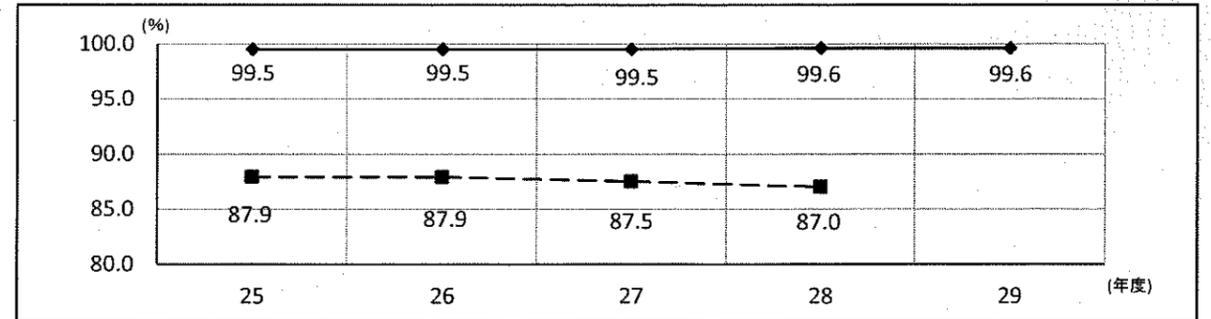
平成29年度末の水洗化人口は、156,878人で前年度に比べ767人、0.5%の減少となりました。

年間有収水量・一人一日あたり有収水量



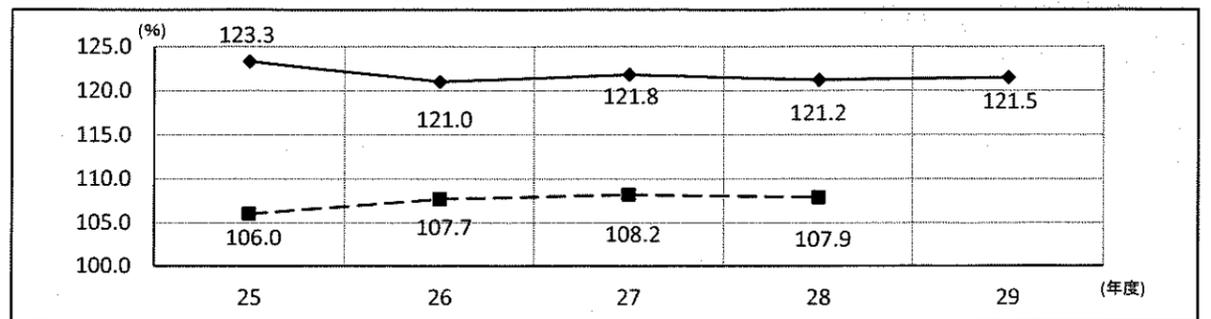
年間有収水量は、15,103,922m³で、前年度に比べ65,772m³、0.4%の増加となりました。

下水道処理人口普及率(実線:川西市 点線:全国平均※)



下水道処理人口普及率は99.6%で、前年度と同値となりました。

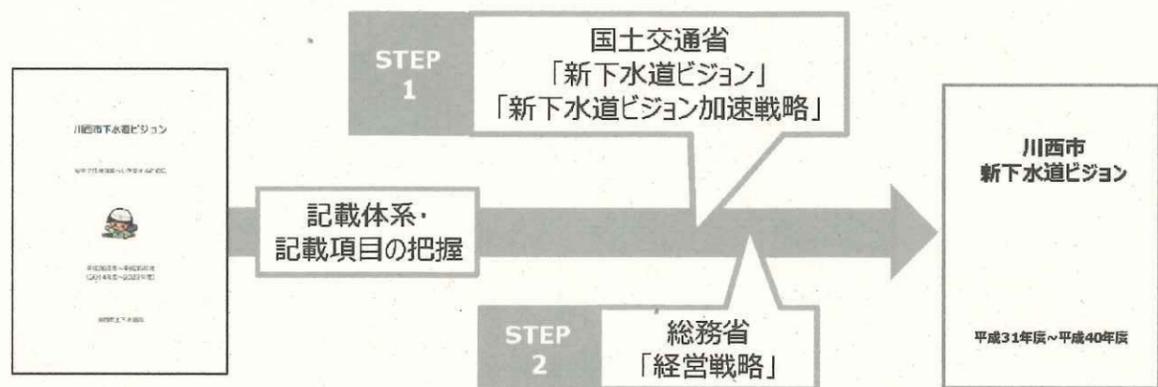
経常収支比率(実線:川西市 点線:全国平均※)



経常収支比率は121.5%で、前年度に比べ0.3ポイントの増加となりました。

※全国平均とは、総務省作成の「地方公営企業年鑑」の法適用企業(公共下水道事業)の全国平均値

新下水道ビジョンへの経営戦略要素の織り込み



STEP 1 : 「経営戦略」要素の織り込み

【現行「川西市下水道ビジョン」の体系】

- 第1章 下水道ビジョンの策定の要旨
 - 1. 下水道の役割
 - 2. 下水道ビジョンの策定に向けて
 - 3. 位置付けと計画期間
- 第2章 川西市下水道の変遷
 - 1. 川西市の下水道事業の概要
 - 2. 川西市の汚水整備と水洗化の概要
 - 3. 川西市の雨水排水対策
- 第3章 下水道事業の財政状況と経営計画
 - 1. 下水道事業の財政状況について
 - 2. 下水道事業の経営および財政計画について
 - 3. 下水道使用料の体系について
- 第4章 基本理念と施策の目標
 - 基本理念 『安全で快適な暮らしを支えるために』
 - 基本目標 安全で安心な暮らしの実現
 - 施策方針 1. 計画的な改築更新
 - 施策方針 2. 維持管理
 - 施策方針 3. 災害対策
 - 基本目標 快適な暮らしの実現
 - 施策方針 4. 生活環境の改善
 - 基本目標 運営基盤の強化
 - 施策方針 5. 健全経営の推進
 - 施策方針 6. 市民との連携

① 「下水道事業の経営および財政計画について」に、現状分析結果と経営課題を反映

② 「基本理念と施策の目標」に、各改善施策を反映
⇒詳細反映方法：STEP 2

③ 「健全経営の推進」に、シミュレーション推移を反映

第4章の詳細項目

STEP 2 : 「新下水道ビジョン」「新下水道ビジョン加速戦略」要素の織り込み

平成30年3月
「第5次川西市総合計画後期基本計画」
～かわにし 幸せ ものがたり～

施策 安全で安定した上下水道の環境整備を推進し、健全な事業経営に努めます

- 経営基盤の強化
- 水洗化の推進
- 下水道施設整備による安全で快適な暮らしの充実
- 下水道施設の更新

平成26年3月
「川西市下水道ビジョン」
～安全で快適な暮らしを支えるために～

基本目標 安全で安心な暮らしの実現

施策方針 1. 計画的な改築更新
具体的施策 ①施設の改築更新

施策方針 2. 維持管理
具体的施策 ②施設の調査・診断及び点検の実施

施策方針 3. 災害対策
具体的施策 ③浸水対策の推進
具体的施策 ④施設の耐震化
具体的施策 ⑤緊急時の体制整備

基本目標 快適な暮らしの実現

施策方針 4. 生活環境の改善
具体的施策 ⑥施設整備の推進
具体的施策 ⑦水洗化の促進

基本目標 運営基盤の強化

施策方針 5. 健全経営の推進
具体的施策 ⑧流域下水道事業の共同運営
具体的施策 ⑨事業の平準化
具体的施策 ⑩人員の適正配置と人材育成

施策方針 6. 市民との連携
具体的施策 ⑪広報活動の充実
具体的施策 ⑫市民との協働

➤ 当市の上位計画である基本計画の施策は、漏れなく織り込む必要があります。

「新下水道ビジョン」と「新下水道ビジョン加速戦略」における施策の関連性

- 当市における施策方針、具体的施策については、「新下水道ビジョン」、「新下水道ビジョン加速戦略」に提示されている具体的施策に対して、当市における実現可能性、費用対効果等踏まえて検討し、体系整理を実施します。
- 詳細検討においては、優先度の高い施策から検討を実施します。(当市の経営戦略・下水道ビジョンの範囲外となると想定される汚水処理施設関係については、一旦対象外とします。)



(出典：国土交通省「新下水道ビジョン加速戦略」)

川西市新下水道ビジョン（素案）について

第1編 川西市下水道事業の現状と川西市下水道ビジョンの検証

第1章 川西市下水道ビジョンの概要

第2章 川西市下水道事業の現状

第3章 川西市下水道ビジョンの検証

第2編 川西市新下水道ビジョン・経営戦略

第1章 「川西市新下水道ビジョン」の策定にあたって

第2章 目指す下水道の姿

第3章 目標達成のための施策

第4章 財政収支試算

第5章 推進体制

第6章 今後実施上の課題

下水道事業に関するアンケート調査 報告書

アンケート実施結果 – 総括 –

【アンケート実施概要】

項目	詳細
調査方法	➤ 郵送によるアンケートの配布および回収（無記名）
調査地域	➤ 本紙全域
調査対象	➤ 本市の下水道を利用している市民（法人を除く）
アンケート実施数	➤ 1,000件（H25実施時と同数）
実施期間	➤ 2019年1月25日～2月15日
抽出方法	➤ 料金システム下水道利用者から無作為の抽出
有効回答数	➤ 565件（有効回答率：56.5%、H25：49.9%）

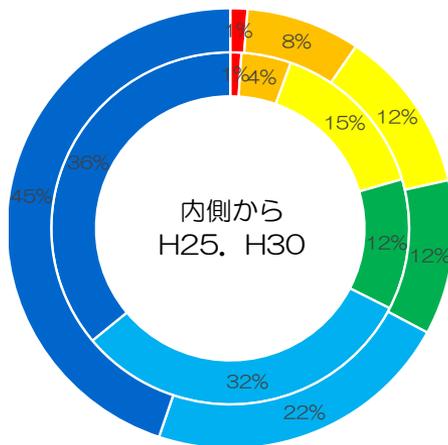
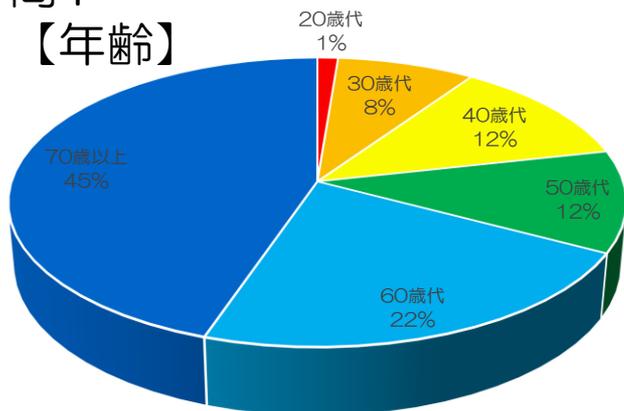
アンケート調査について

【質問項目】

		質問項目	
状況調査 (3)を追加	(1)	あなたの年齢はおいくつですか。	
	(2)	住宅に何人でお住まいですか。	
	(3)	現在の住宅には何年お住まいですか。	
意識調査 前回同様 実施	(4)	普段生活を送っている中で「下水道」について意識したことがありますか。	
	(5)	(4)で「意識している」または「たまに意識している」と回答された方にお聞きします。どのような時に「下水道」を意識しますか。【複数回答可】	
市民の知識の把握に関する調査 前回より項目を追加して実施	(6)	(5)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	(7)	下水道は汚水と雨水を合流管で排水する「合流式」と、汚水と雨水を別々の管で排水する「分流式」がありますが、川西市は「分流式」であることを知っていますか。	
	(8)	下水道は汚水を処理する費用には下水道使用料があてられ、雨水を排除する費用は公費（税金）があてられることを知っていますか。	
	(9)	汚水は下水処理場できれいな水にして、川や海に戻しますが、川西市の汚水は豊中市の原田処理場で処理した後、猪名川へ放流していることを知っていますか。	
	(10)	雨水は、集中豪雨や台風などで大雨が降ったとき、すばやく下水道管に雨を集め川に流すことにより、浸水から街を守っていますが、川西市には市南部地区の雨水を強制的に川へ放流する前川・加茂雨水ポンプ場があることを知っていますか。	
	(11)	住宅に設置できる雨水貯留施設（雨水タンク）があり、川西市では設置にかかる助成金を受けられることを知っていますか。	
	(12)	下水道を利用する時、注意を払っていることは何ですか。【複数回答可】	
	(13)	(12)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	(14)	下水道の役割について知っているものは何ですか。【複数回答可】	
	(15)	(14)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	(16)	全国的に下水道事業では、いろいろな多目的活用を行っています。以下について、見たり聞いたりしたことがあるものを教えてください。【複数回答可】	
	(17)	(16)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	広報調査 前回同様 実施	(18)	川西市の下水道についての情報は、何からお知りになりますか。【複数回答可】
		(19)	(18)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。
		(20)	(18)で「下水道の情報に触れたことがない」と回答した以外の方にお聞きします。川西市の下水道に関する広報は分かりやすく伝わっていますか。
(21)		(18)で「下水道の情報に触れたことがない」と回答した以外の方にお聞きします。川西市の下水道に関する広報の情報量についてどう思いますか。	
(22)		下水道に関する情報で、あなたが知りたい情報はどのようなものですか。【複数回答可】	
(23)		(22)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
災害調査 前回より下水の内容に変更して実施	(24)	下水道の地震対策として、下水道管や下水処理場の耐震化などの取り組みが行われていることを知っていますか。	
	(25)	地震時など、避難所のトイレが使用できないときに、使用することができる「マンホールトイレ※」を知っていますか。 (※マンホールトイレとは、マンホールの上に便座や囲いを設置するだけですぐ使用することができ、し尿を下水道へ直接流せるので臭いも少なく衛生的なトイレのことです。)	
	(26)	地震が起きたとき、水洗トイレを使用する前に、停電、断水、排水管の破損の確認をする必要があることを知っていますか。	
	(27)	地震が起きた時の下水道に関することで不安なこと気になることがあれば教えてください。	
下水料金に関する調査を新たに追加して実施	(28)	下水道使用料は水道料金と同様に2ヶ月ごとに徴収されていることを知っていますか。	
	(29)	(28)で「知っている」と回答された方にお聞きします。2ヶ月あたりの下水道使用料として、いくらくらい支払っているか知っていますか。	
	(30)	(29)で「知っている」と回答された方にお聞きします。実際に支払っている金額を教えてください。	
	(31)	(29)で「知っている」と回答された方にお聞きします。下水道使用料についてどのように感じますか。	
	(32)	(31)で「高い」または「非常に高い」と回答された方にお聞きします。なぜ、下水道使用料が高いと感じますか。【複数回答可】	
	(33)	(32)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	(34)	現在、人口減少による使用料収入の減少や下水道施設の老朽化による改築工事の増加などの問題が進んでいます。それらの問題に対応するために下水道施設の維持管理の徹底などコスト削減を図る取組を行っています。こうした状況の中、さらに問題が進んだ時に下水道使用料が上がるとした場合どのように思いますか。	
	(35)	(34)で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。	
	(36)	(34)で「どちらかといえば反対」または「反対」と回答された方にお聞きします。下水道使用料を上げる以外に下水道事業の問題を改善していくためにどのような方法をとる必要があると考えますか。	
意見調査 前回同様 実施	(37)	下水道使用料について意見や気になることがあれば教えてください。	
	(38)	あなたは、今後の下水道事業で力を入れるべき点はどのようなことだと思いますか。【複数回答可 3つ以内】	
	(39)	最後に、川西市の下水道に関して意見等ございましたらご記入ください。	

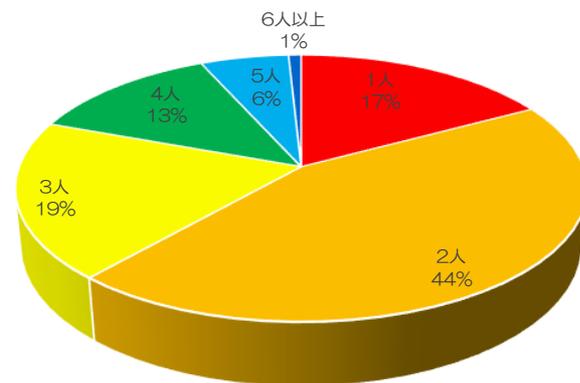
問1-問3. 年齢・住宅

問1 【年齢】



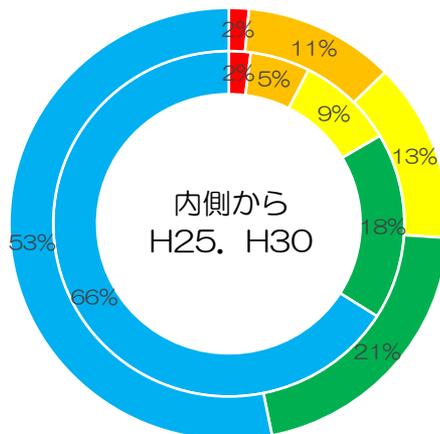
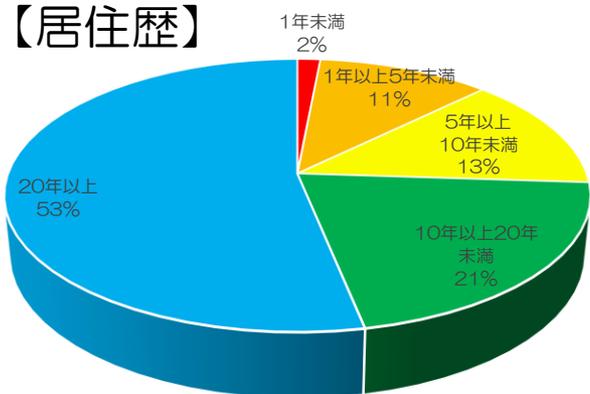
- 70歳以上が45%で最も多い。60歳代と合わせると67%と、全体の3分の2を占める。
- 20歳代の回答が少ない。

問2 【何人住まいか】



- 「2人」が44%で最も多い。次いで「3人」が19%、「1人」が17%と続いている。
- 「6人以上」は全体の1%と少ない。

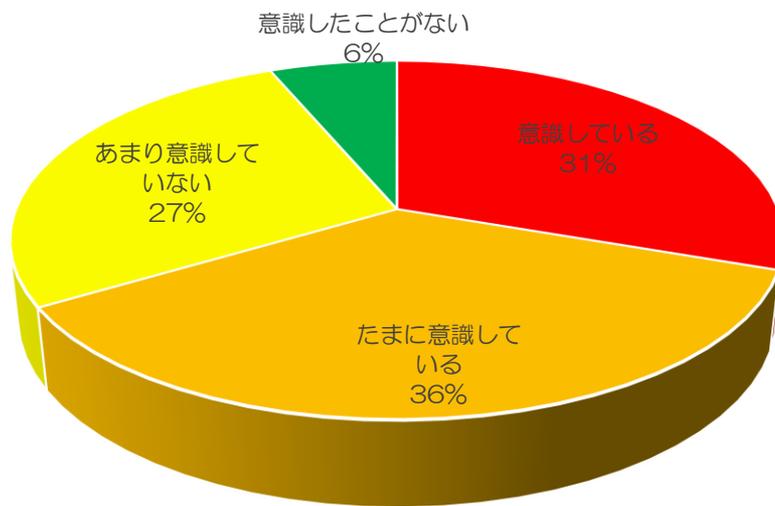
問3 【居住歴】



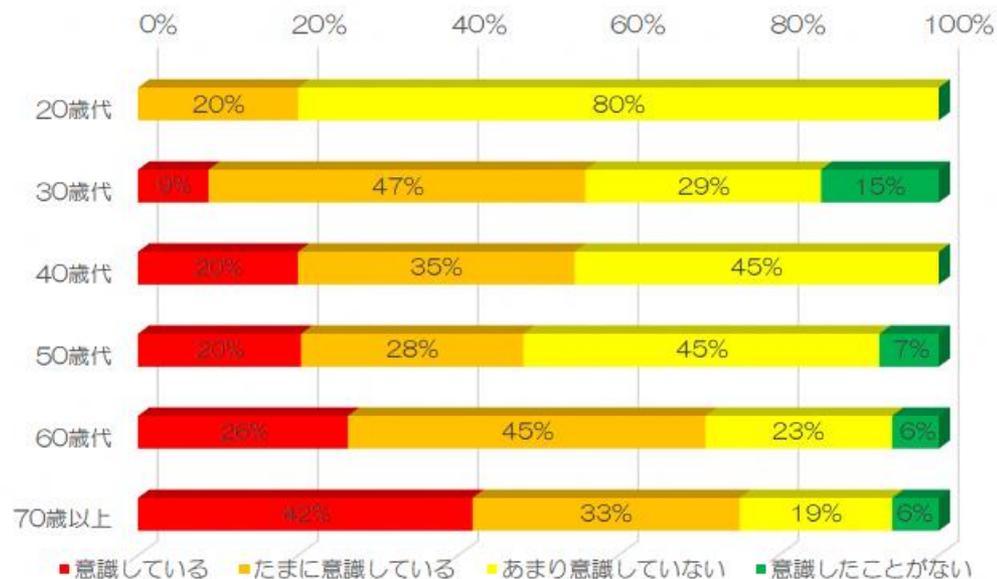
- 「20年以上」が53%で最も多く、「10年以上20年未満」が21%と続いている。
- 「1年未満」の回答がきわめて少ない。

問4. 普段生活を送っている中で「下水道」について意識したことがありますか。

【全体】



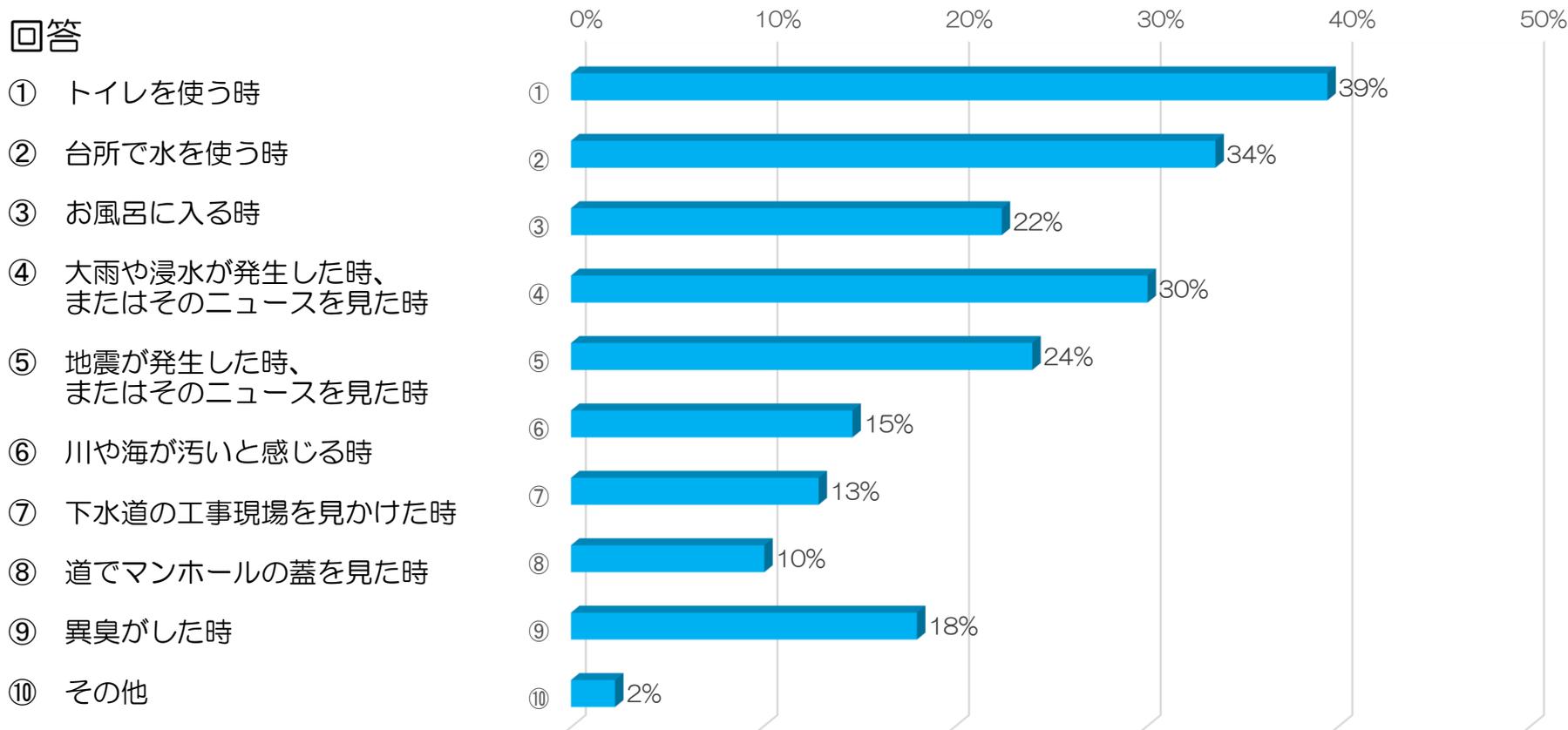
【年齢別】



- 「意識している」「たまたま意識している」の回答を合わせると67%と、全体の3分の2を占めている。
- 年齢が高くなるほど「意識している」の回答の割合が大きくなっている。

問5. 問4で「意識している」または「たまに意識している」と回答された方は、どのような時に「下水道」を意識しますか。【複数回答可】

回答



- 「トイレを使う時」が最も多く、次いで「台所で水を使う時」「大雨や浸水が発生した時、またはそのニュースを見た時」が上位となった。

問6. 問5で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

回答29件

【清掃等】

- 本管に木の根が入って流れなくなることがあります。その都度清掃などを実施して頂いています。
- 年末に配管の掃除をする時。
- マンホール蓋が埋まり隙間から木の根が入り、ボール状の根の玉で下水が詰まったとき。
- 下水道のあふれ。小川に魚が住んでいない時。
- 台所ではゴミが流れないように細かい袋を受けているのですが、一度流してから水が流れず困りました。パイプマンを何回か使い通りました。
- 年に1回「マス」の清掃を行っているが、洗剤油カス等の固まりを取り除いている。これは自己責任ではありますが。
- 数年前、朝散歩するため外に出た時、トイレの異臭とマンホールから汚物が溢れているのを見て、私はすぐに業者に連絡。結果長年の間に一部地盤沈下、汚物が溜まり、流れていなかった。その日のうちに工事した。
- 時には掃除する。
- 大雨などの時マンホールのふたがあき、あふれる。自宅内のトイレがあふれる寸前を経験する。どうにかならないかと思う。
- 庭に植木がありその根っ子が下水道管の継ぎ目よりはり出しチリ紙がつまり水を流せない事あり（水道管が詰る時あり）
- 汚水管が詰って流れが悪くなったことがあった それ以後多少意識している。汚水管のインバート箇所が少々傷んでいるのを発見してから。
- うちのトイレはよくつまるのでそのたびに家の外へ出て汚水のフタをあけて汚物を水で流します。2週間に一度くらいのペースです。そのたびに下水道を意識します。
- 下水管のつまりや汚れ。
- 取付ますに木の根が入り込み流れを遮るので「マス」が溢水することがここ2年程あった。以後掃除を心掛けようと思っている。

【使用料】

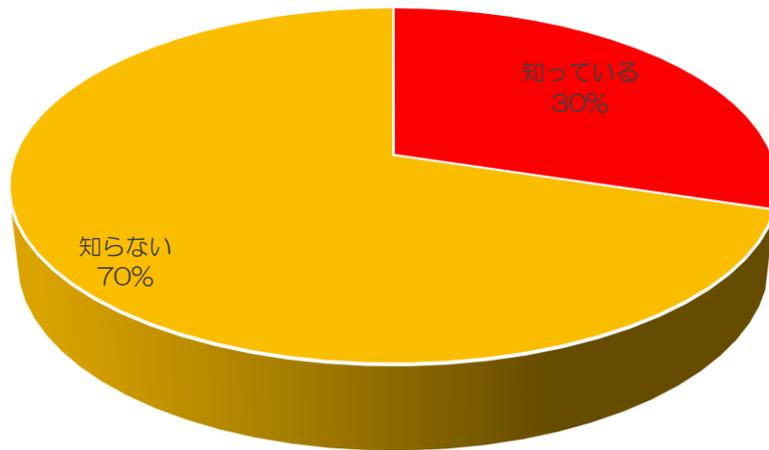
- 上下水道料金の請求書を見た時
- 領収書を見た時。
- 料金が高いのでは。例えば大阪市と比べて。
- 使用料金
- 庭に散水する時下水道には全く流れないのでなぜ料金を支払わねばならないのかと思う。

【その他】

- 1) ニュースで下水道事業が赤字で大変なことを知った時。2) 大阪で下水道事業会社を統合しようとする動き。
- トイレに流す時、雨水を使用できないか。
- 趣味の園芸で水をまいたりする時、夏場はバラの鉢など、朝夕たっぷり使いますから。
- 水道量について
- にごり水が出ていないか、漏れがないか。
- 家が古いので水道のじゃ口が悪い。
- マンションの老朽化を考えた時。
- 一人暮らしで高齢なので今後送付なさないでください。水は大切に使っております。
- 正しく管理されている事を信頼しています。
- 水を使いすぎないように心がけている。地震や災害で水が止まってしまうと困るなと思う。

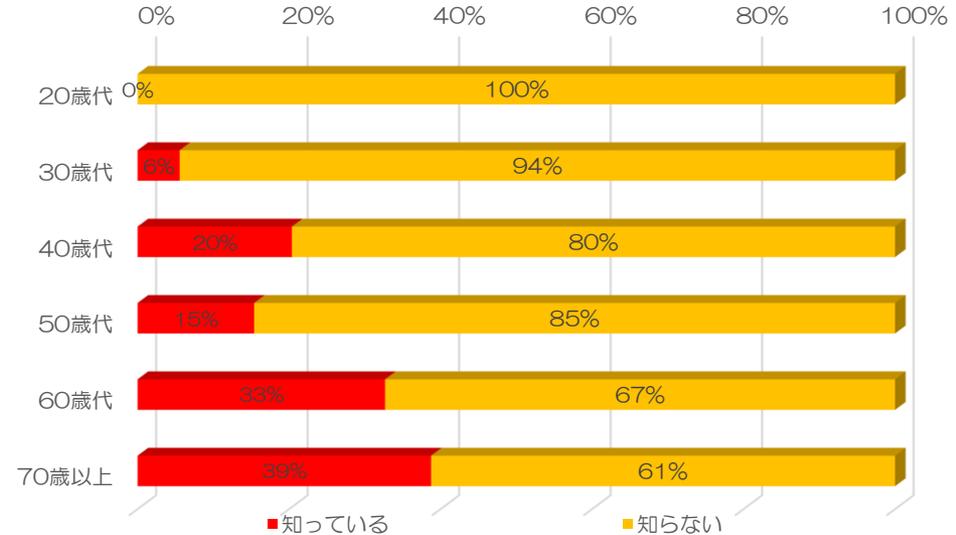
問7. 下水道は汚水と雨水を合流管で排水する「合流式」と、汚水と雨水を別々の管で排水する「分流式」がありますが、川西市は「分流式」であることを知っていますか。

【全体】

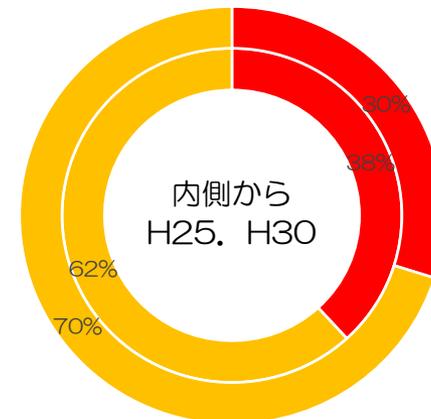


- 「知らない」の回答の割合が70%を占めている。
- 年齢が高くなるほど「知っている」の回答の割合が大きくなっている。
- 前回より「知っている」の回答の割合が低下している。

【年齢別】

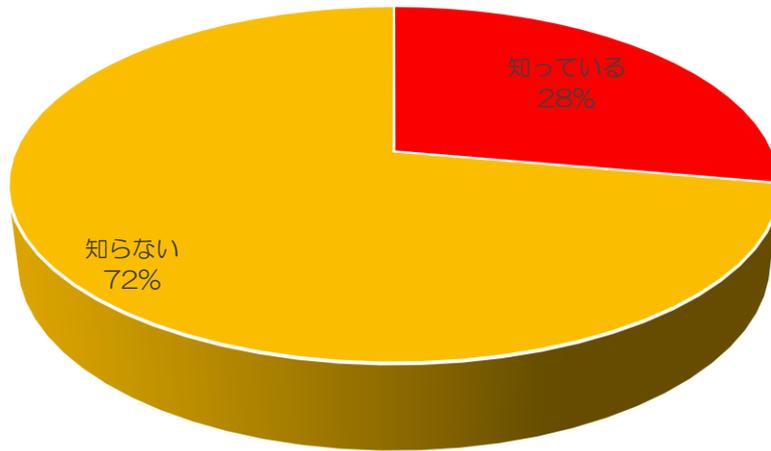


【H25との比較】

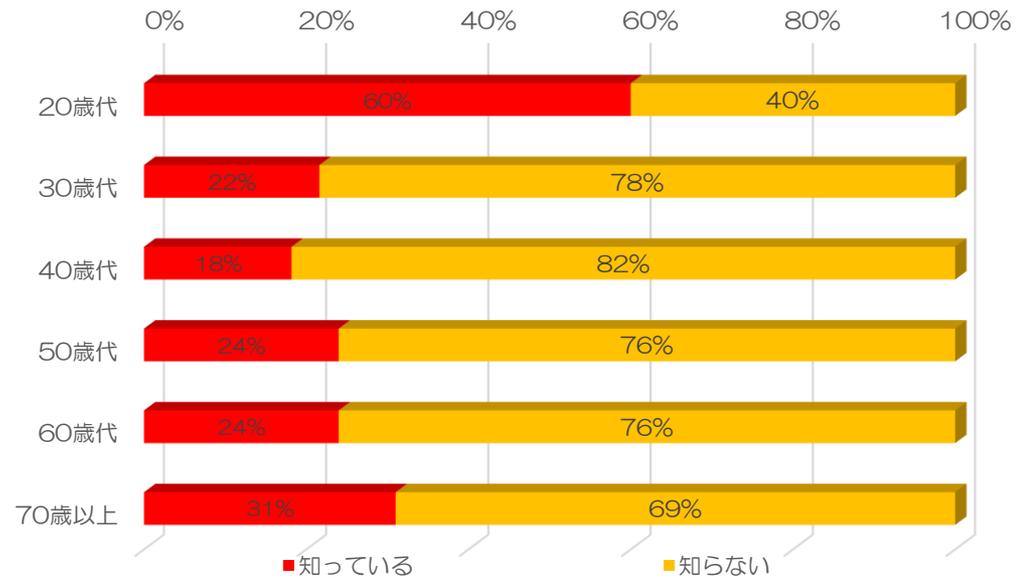


問8. 下水道は汚水进行处理する費用には下水道使用料があたり、雨水を排除する費用は公費（税金）があたりられることを知っていますか。

【全体】



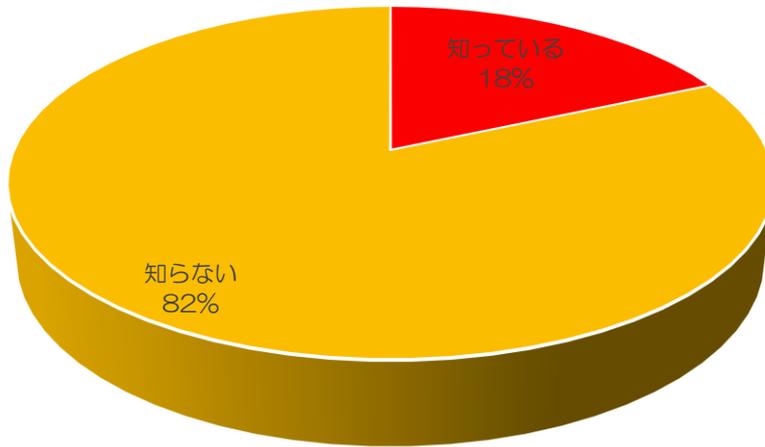
【年齢別】



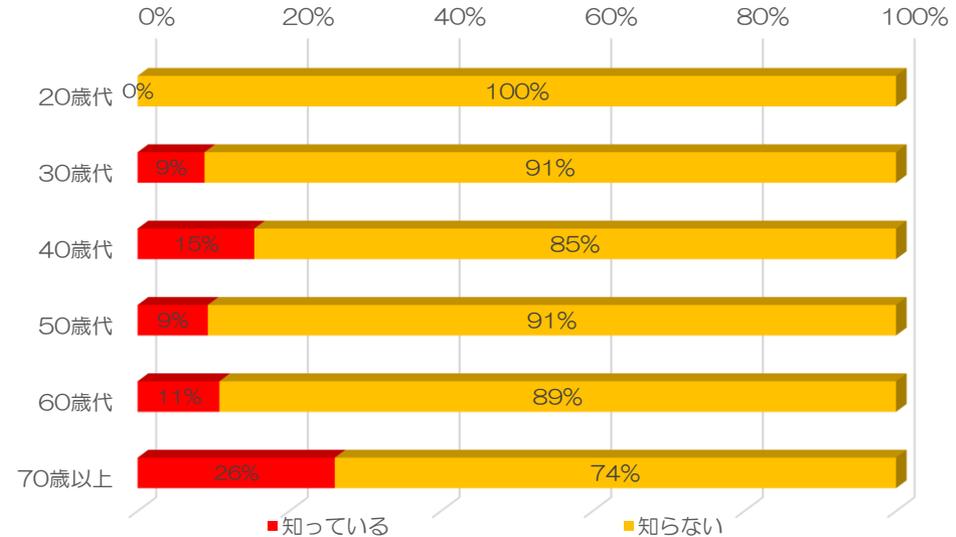
- 「知らない」の回答が72%を占めている。
- 20歳代を除き、年齢が高くなるほど「知っている」の回答の割合が大きくなっている。

問9. 汚水は下水処理場できれいな水にして、川や海に戻しますが、川西市の汚水は豊中市の原田処理場で処理した後、猪名川へ放流していることを知っていますか。

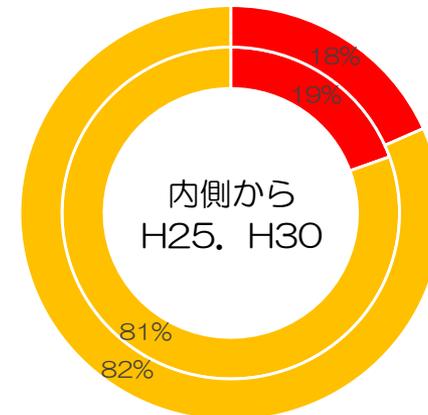
【全体】



【年齢別】



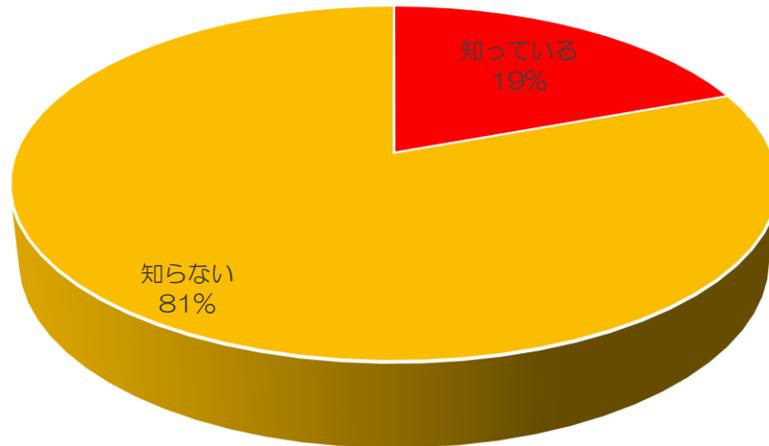
【H25との比較】



- 「知らない」の回答が82%と大半を占めている。
- 年齢が高くなるほど「知っている」の回答の割合が大きくなっている。
- 前回から回答の割合に大きな変化はない。

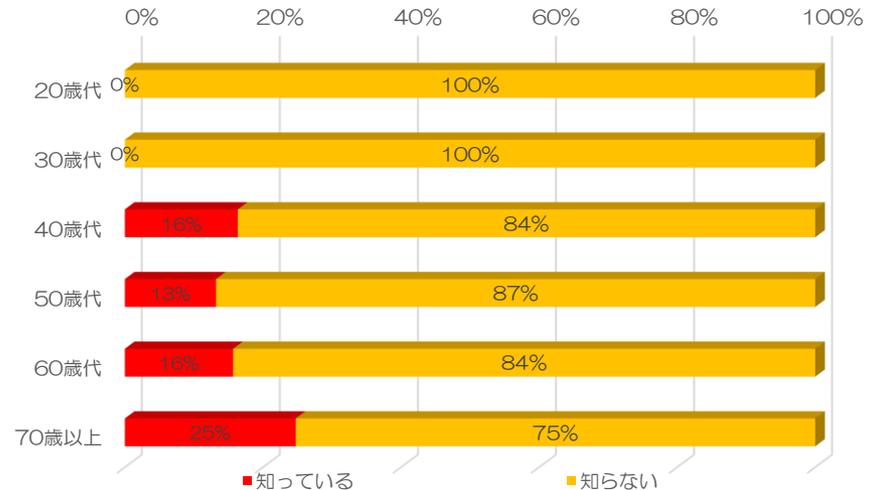
問10. 雨水は、集中豪雨や台風などで大雨が降ったとき、すばやく下水道管に雨を集め川に流すことにより、浸水から街を守っていますが、川西市には市南部地区の雨水を強制的に川へ放流する前川・加茂雨水ポンプ場があることを知っていますか。

【全体】

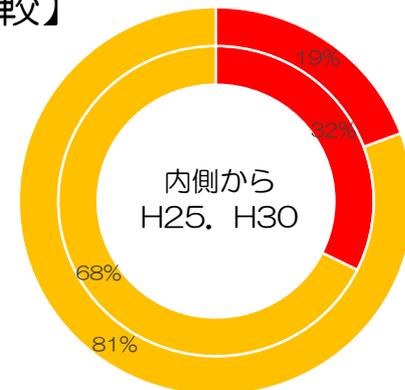


- 「知らない」の回答が81%と大半を占めている。
- 年齢が高くなるほど「知っている」の回答の割合が大きくなっている。
- 前回より「知っている」の割合が低下している。

【年齢別】

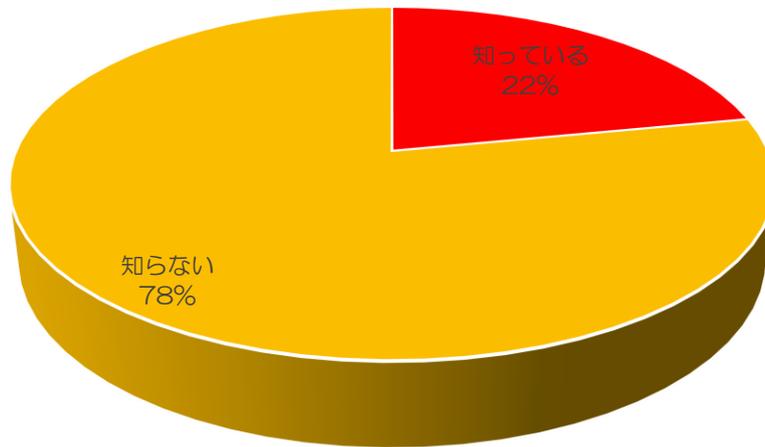


【H25との比較】



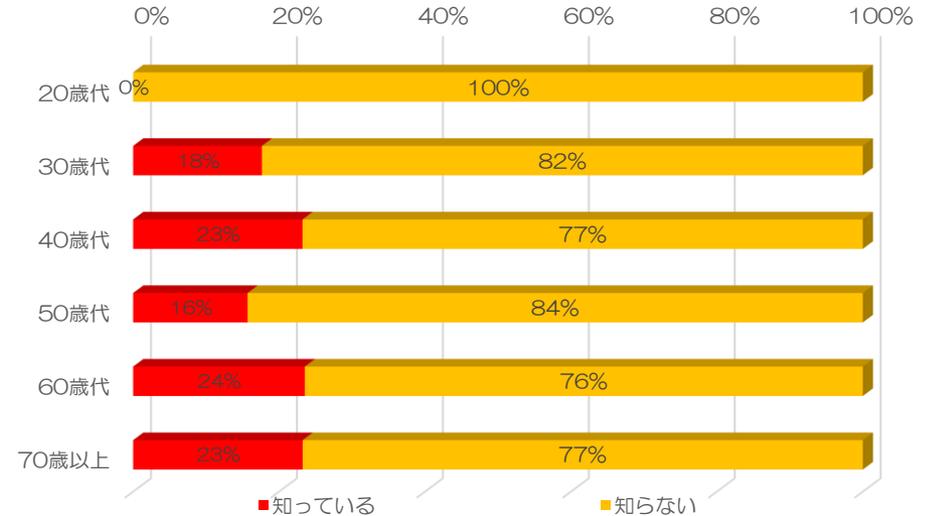
問11. 住宅に設置できる雨水貯留施設（雨水タンク）があり、川西市では設置にかかる助成金を受けることができることを知っていますか。

【全体】

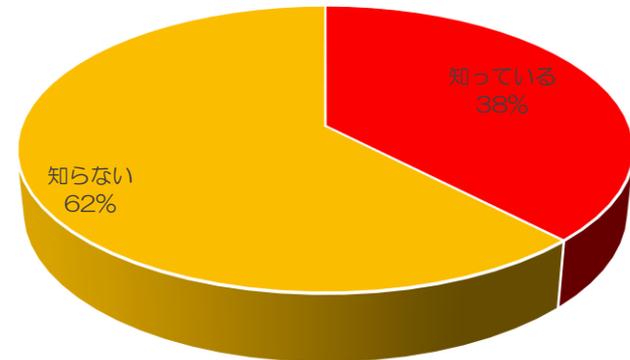


- 「知らない」の回答が78%を占めている。
- 年齢別に見ると、20歳代は「知らない」の回答が100%となっている。
- 前回は助成金に関する質問を行っていないため、単純に比較することはできないが、「知っている」の回答の割合は依然として低いままである。

【年齢別】

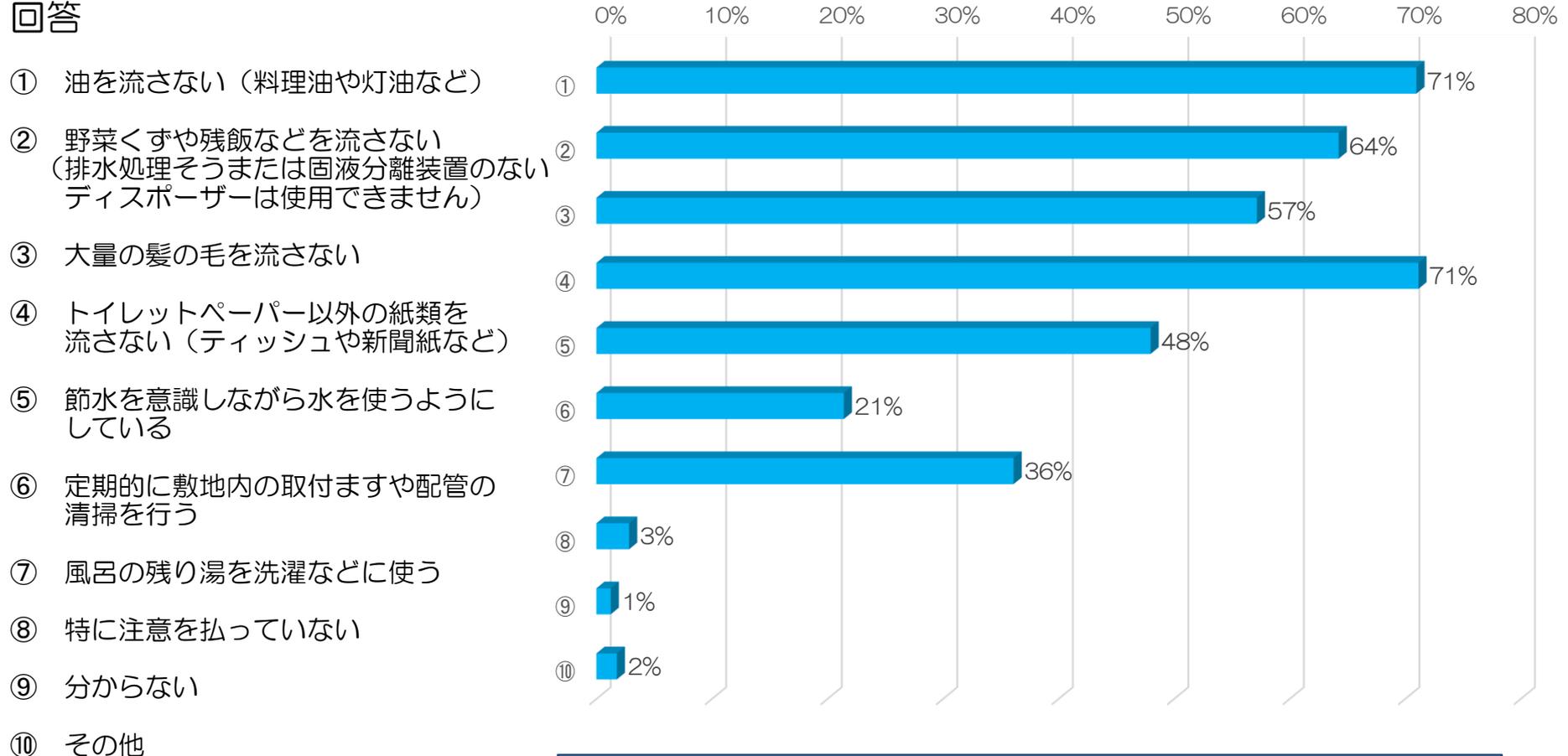


【H25の質問】 住宅に設置できる雨水貯留施設（雨水タンク）があることについて。



問12. 下水道を利用する時、注意を払っていることは何ですか。【複数回答可】

回答



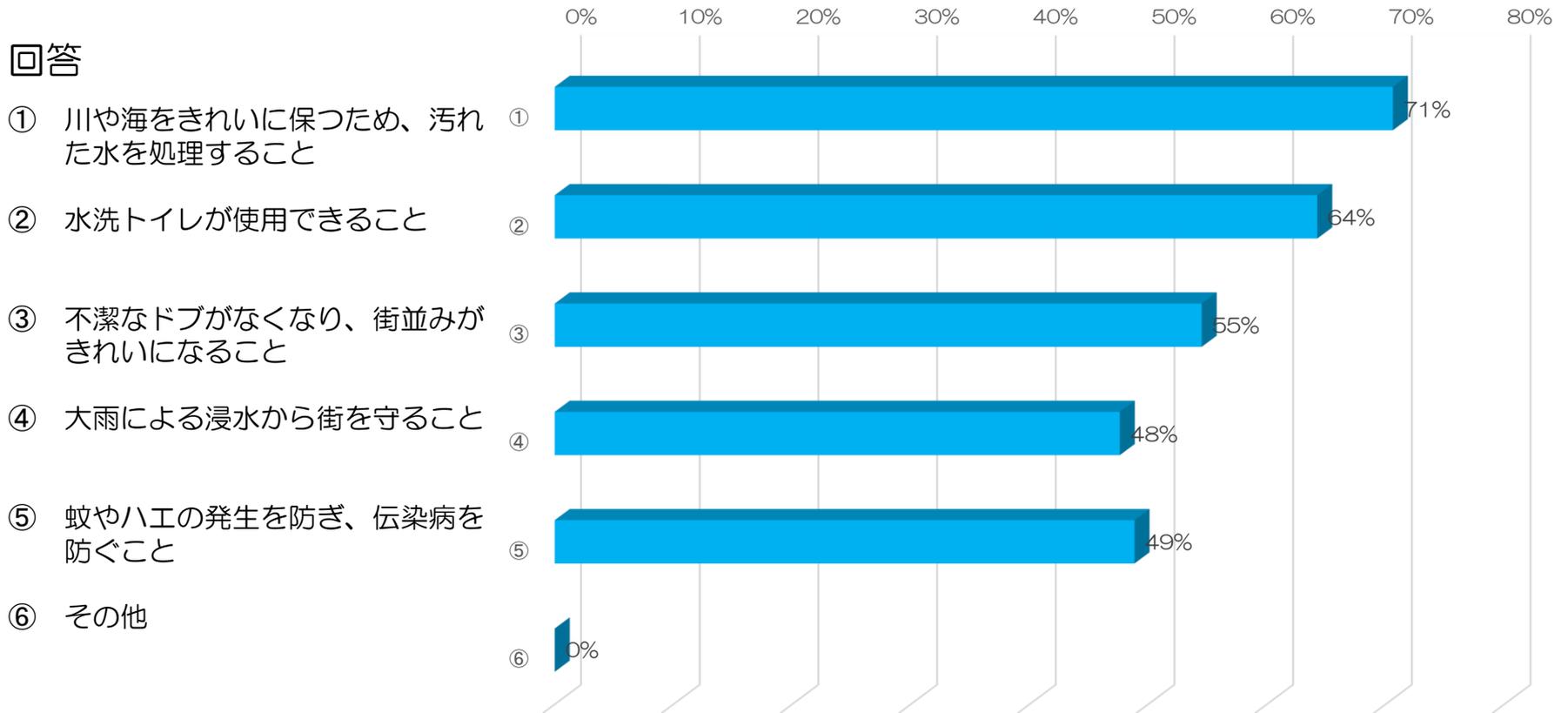
- 「油を流さない」「トイレトペーパー以外の紙類を流さない」が70%を超え、上位となっている。
- 次いで「野菜くずや残飯などを流さない」「大量の髪の毛を流さない」が続いている。

問13. 問12で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

回答12件

- 雨が降った時にトレイでためている。それを畑やらくわを洗っている。
- 洗濯のさい排水ホース先にごみネットをつけて風呂場の洗い場に流す。いがいと多くのゴミがたまります。少しでもゴミを流さないよう続けています。
- 節水のために蛇口の前のコックを全開にせず、少し絞っている。
- 庭の水まき様にガレージのトイを筒にさし、プラスチック容器や灯油入れに溜めて使っています。300ℓ位はすぐにいっぱいになります。
- 2年に一度、業者に下水管清掃をしている。
- 風呂は使用していない。
- ディスポーサの意味がわかりません。
- 1、植木ばち等の植栽に風呂の残り湯の冷水を使っています。2、窓ガラスの清掃時や網戸の清掃時にバケツに風呂の残り湯の少しぬるま湯を使用し、手洗い等にも使用している。3、ベランダ（バルコニー等）の床面や側溝部のドレン廻りの清掃等にも残り湯を使用している。
- 節水でトイレを流すと水不足で流れないので、いつも大で流します。風呂の湯で洗濯するときれいに洗えない。カビ臭がするので、使っていません。
- 水のありがたさを時々思い感謝の気持ちを忘れない様にする。
- 花の水あげ 風呂そうじ（そうじも洗剤を使わなくてもいいタワシを使い節水しているつもり）
- 洗剤等の使用を出来るだけ少なく使うようにしている。又油よごれ等はペーパー等でふきとってから洗う。トイレの水も少なめに使っている。

問14. 下水道の役割について知っているものは何ですか。 【複数回答可】



- 「川や海をきれいに保つため、汚れた水を処理すること」「水洗トイレが使用できること」が上位となっている。
- 他の回答も約50%の割合となっている。

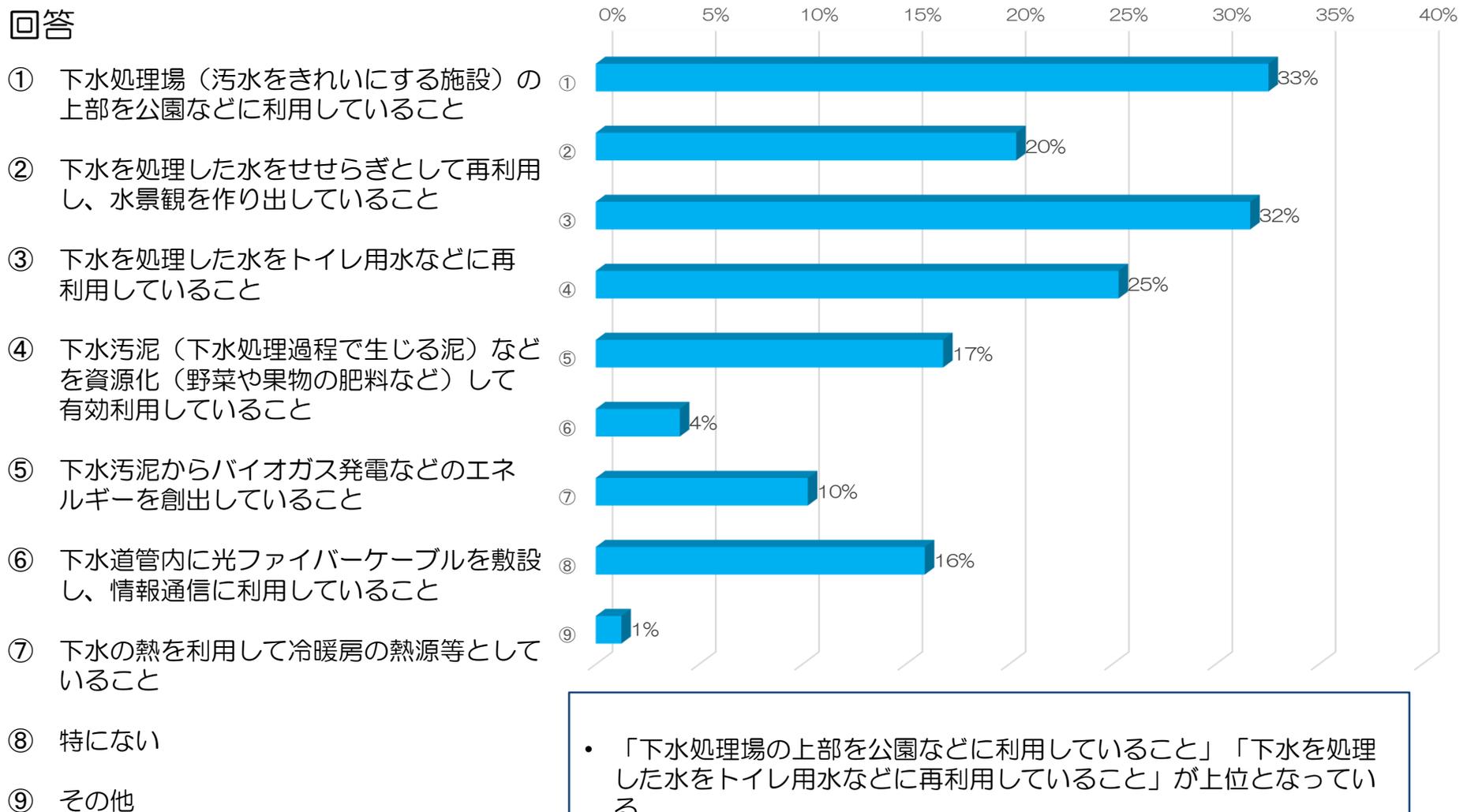
問15. 問14で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

回答1件 一部抜粋

- 当方RC造の7階建の3階部居住ですが、バルコニーに「あり」を時々夏季に見かける事がありますが、アリが群がるといけないので侵入防止！！の為、拡散ジェット噴射で速効退治する為、アリを一網打尽！！（約2週間持続）のボンベを使用する為、用意をしている次第です。

問16. 全国的に下水道事業では、いろいろな多目的活用を行っています。以下について、見たり聞いたりしたことがあるものを教えてください。【複数回答可】

回答



- 「下水処理場の上部を公園などに利用していること」「下水を処理した水をトイレ用水などに再利用していること」が上位となっている。

問17. 問16で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

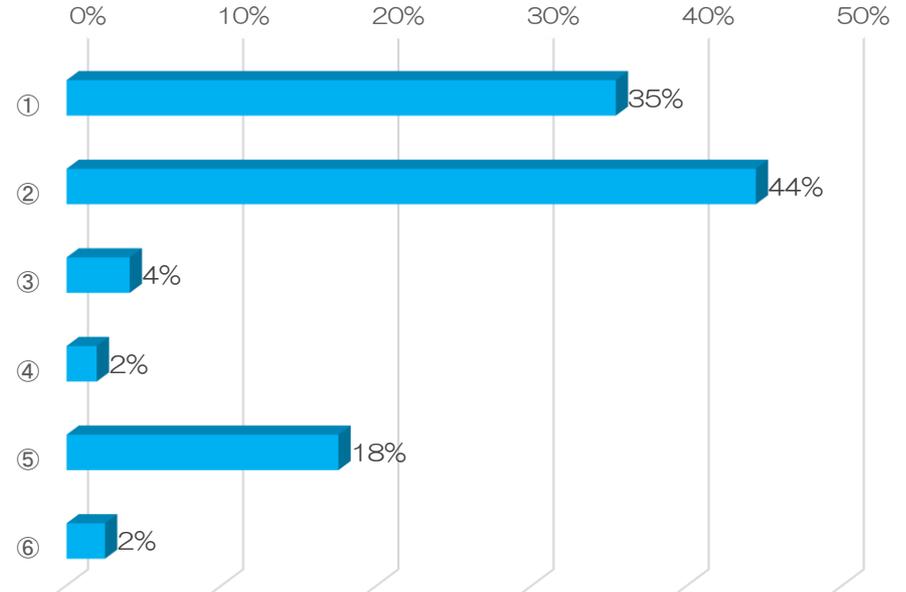
全回答 6件

- 実施すれば赤字になるのでは？
- 特に意識していなかった。
- アンケート問題でこのように使用していることを改めて知りました。
- 下水道事業でいろいろな活用をされているとは思っていても実のところ解っていません。
- あまり川がきれいと思うことはない。公園が少なすぎ→川の上を遊歩道にしてほしい。最明寺川。
- 他府県でHOTEL、旅館等で処理した水再利用でせせらぎ風にして、メダカ等の小魚を20cm巾の側溝を使用してじゅん環？造や噴水に利用しているものがあった。他府県で道路の中央分離帯の植栽の夏季含む水やりに使用されていた（植木の夏？防止）（歩道の植栽部や公園や学校の運動場等の水まきにも使用されていた）

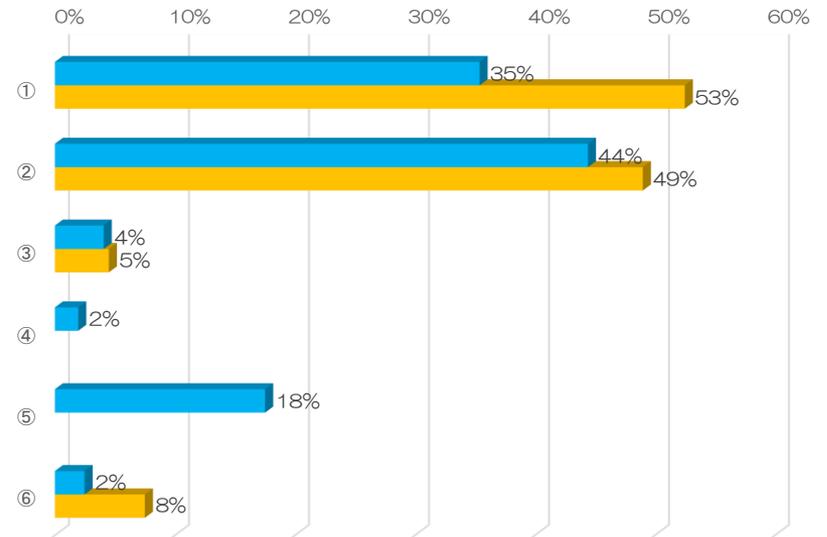
問18. 川西市の下水道についての情報は、何からお知りになりますか。 【複数回答可】

回答

- ① 上下水道局広報誌「かわにしの水道・下水道」
- ② 市広報誌「広報かわにし みらいふ」
- ③ 市のホームページ
- ④ 上下水道局のホームページ
- ⑤ 下水道の情報に触れたことがない
- ⑥ その他



【H25との比較】



- 「市広報誌『広報かわにし みらいふ』」が44%と最も多く、「上下水道局広報誌『かわにしの水道・下水道』」が35%で続いている。
- 前回の回答の選択肢には「下水道の情報に触れたことがない」が用意されていなかった。今回の調査では18%の割合となっている。

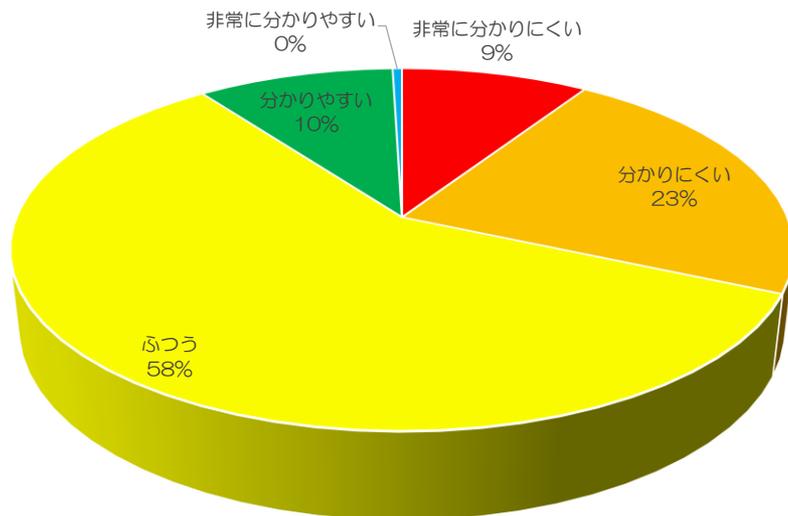
問19. 問18で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

全回答 19件

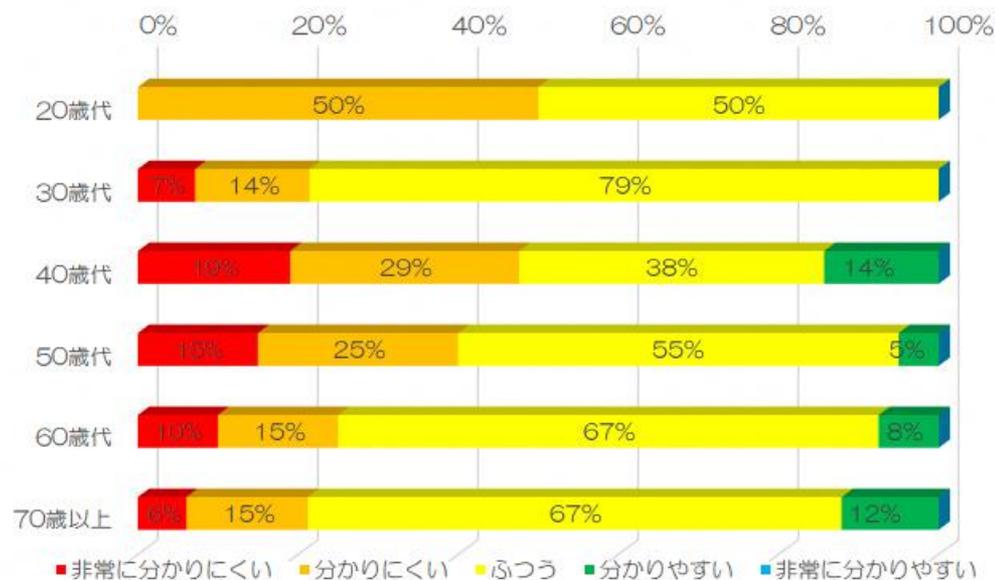
- 広報で知り雨水タンクを設置した。
- 施設の見学。
- 子どもが学校で学習してきた事を聞いて。
- 依然降雨情報があったのでは？
- 以前、工事関係者であった。
- 造成工事に携わっていたので
- 川西市以外のHPや情報誌等。
- 子ども（小学生）の体験学習で。
- 家を建てた時、業者に種々説明してもらったので概略は知っていた。工事関係の仕事をやったことがある。
- 以前、下水道などの委託の仕事をしていたから。
- 今回のアンケートで知った。
- 自治体建設工事入札情報
- 小学生の子供が学校で冊子をもって帰ったりしている。
- 他の県、市のテレビ報映ニュース。
- 調べた（学習のために）
- 子どもが学校で学んできたことを話してくれる。
- 子どもの学校からの配布物。
- どこで見たかは忘れたが、町のどこかで見て頭に残っているのだと思います。
- 広報誌にのっているのは知っていますが読んでいません。

問20. 問18で「下水道の情報に触れたことがない」と回答した以外の方にお聞きします。川西市の下水道に関する広報は分かりやすく伝わっていますか。

【全体】



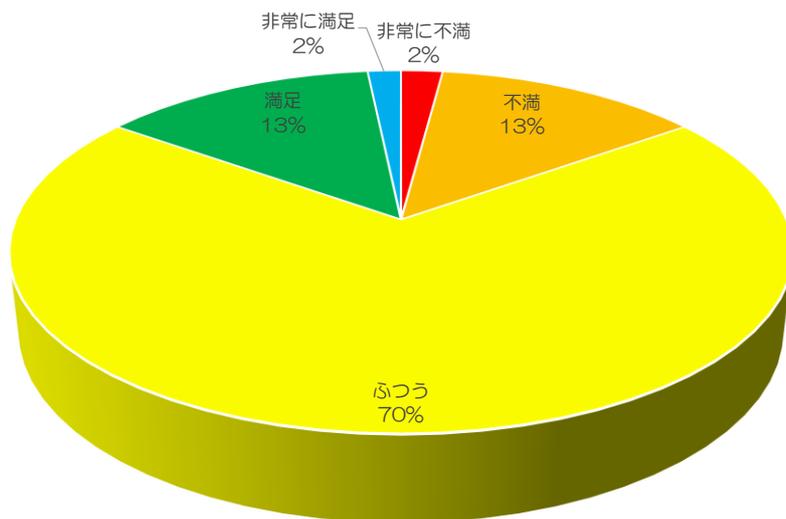
【年齢別】



- 「ふつう」の回答の割合が58%と最も多く、次いで「分かりにくい」の回答の割合が23%と続いている。
- 「非常に分かりやすい」「分かりやすい」の合計より、「非常に分かりにくい」「分かりにくい」の合計のほうが大きい。
- 年齢別に見ると、「非常に分かりにくい」「分かりにくい」の回答の割合の合計は、年齢が高くなるほど低くなっていく傾向にある。

問21. 問18で「下水道の情報に触れたことがない」と回答した以外の方にお聞きします。川西市の下水道に関する広報の情報量についてどう思いますか。

【全体】



【年齢別】

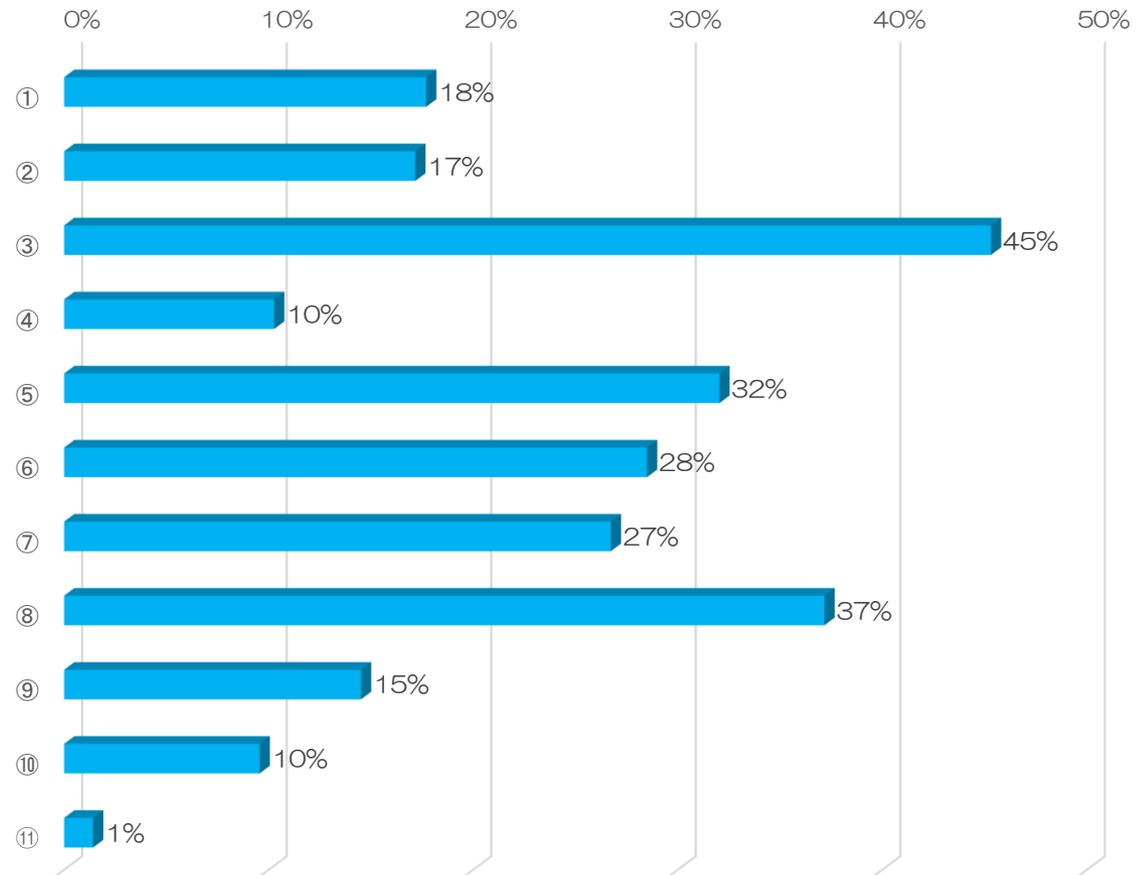


- 「ふつう」の回答の割合が70%を占めている。
- 年齢別に見ると、50歳代、60歳代の「非常に不満」「不満」の割合が、他の年代と比べて高くなっている。

問22. 下水道に関する情報で、あなたが知りたい情報はどのようなものですか。【複数回答可】

回答

- ① 下水道のしくみ
- ② 下水道の役割や機能（接続するとどんな効果があるのか）
- ③ 下水道が詰まった時の対処法について
- ④ 下水道への接続について（接続のための手続きや工事費、助成・融資制度など）
- ⑤ 下水道使用料について
- ⑥ 下水道の地震対策
- ⑦ 大雨から街を守る浸水対策
- ⑧ 災害時の下水道の使用について
- ⑨ 下水道の整備方針や経営方針（ビジョン）
- ⑩ 下水道の出前講座や下水処理場の見学など下水道の仕組みについて勉強・見学できるイベント情報
- ⑪ その他



- 「下水道が詰まった時の対処法について」が45%と最も多く、次いで「災害時の下水道の使用について」が37%、「下水道使用料について」が32%と続いている。

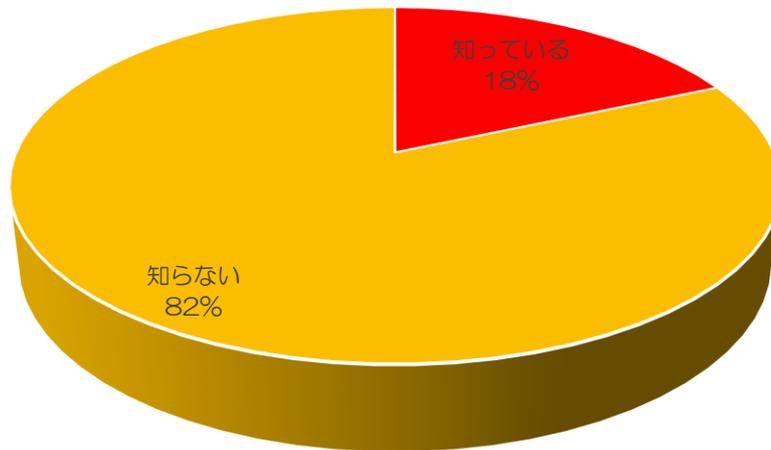
問23. 問22で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

全回答 12件

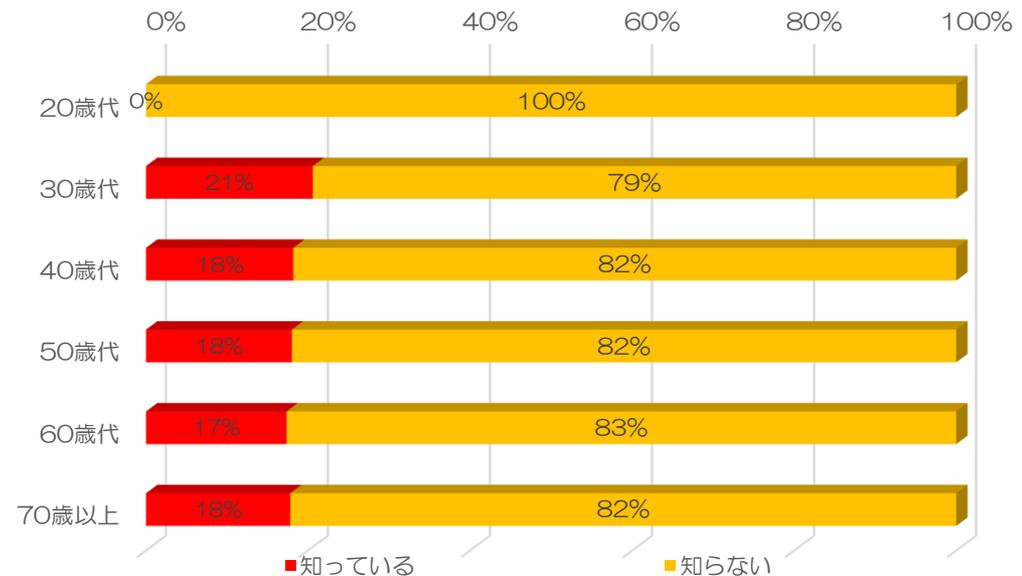
- 下水道配管の老朽化の状況や今後の補修、更新の規模や予算について
- 私共は2人とも90歳に近く、いつ寿命がつきるか分からないので、一日一日をこのお水を大切にに使わせて頂きます。
- 情報が少ない。目にふれない。
- 取付けますや配管の清掃方法や頻度、必要性。
- 住居が新光住宅地、高いところなのであまり水災害については意識しない。住んで50年弱、施設が古くなるとときの心配がある。その後、先に書いた2年に一度の清掃処理を業者に頼んでいる。
- 水道代金が高すぎる。
- 飲料水が下水（水洗用）に使用している現状（高い水道料）を変えていく方針があるのか。我々にはわからない。
- かわより低地のため大雨の時ものすごく不安。
- 災害発生時に設定されるマンホールトイレの具体的な場所。
- 脱水ケーキの園芸利用がしたいので配布があるのであればその情報。
- 雨水タンクについてもっと知りたい。
- 別にありません。

問24. 下水道の地震対策として、下水道管や下水処理場の耐震化などの取り組みが行われていることを知っていますか。

【全体】



【年齢別】

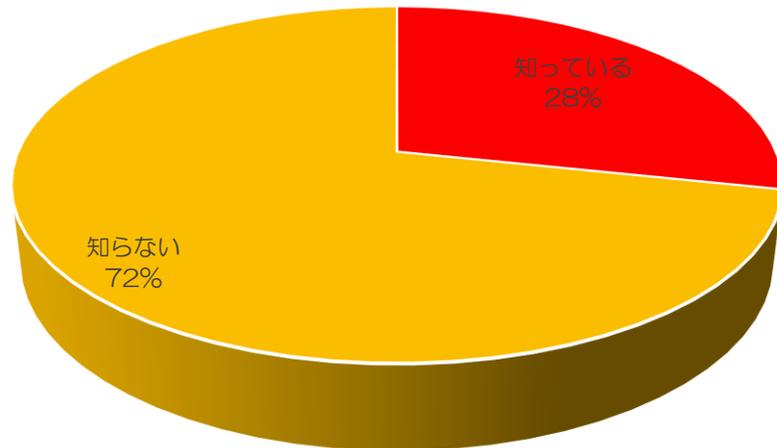


- 「知らない」の回答の割合が82%と大半を占めている。
- 年齢別に見ると、20歳代では「知らない」の回答の割合が100%となっている。他の年代では年齢ごとの差はみられない。

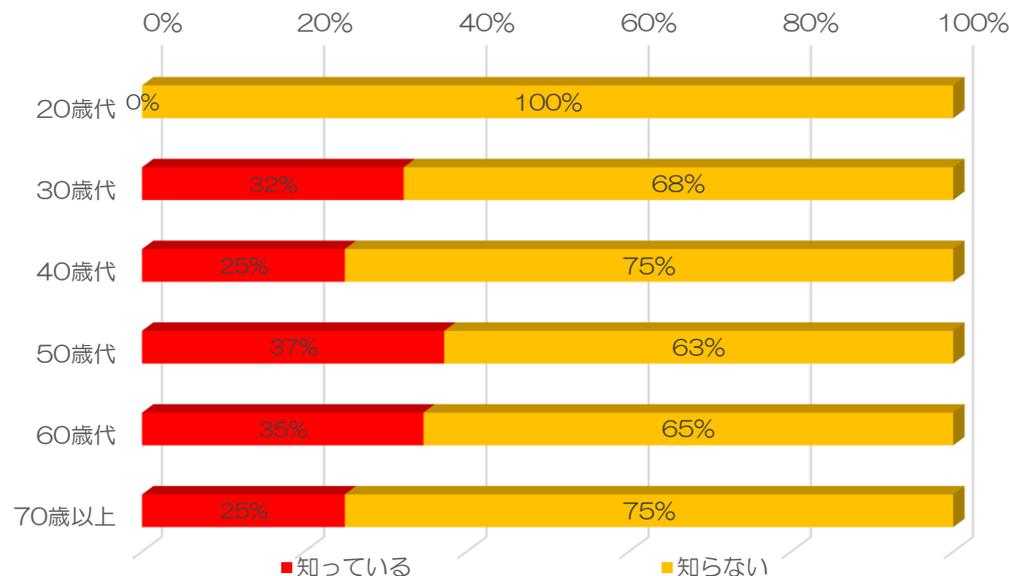
問25. 地震時など、避難所のトイレが使用できないときに、使用することができる「マンホールトイレ※」を知っていますか。

(※マンホールトイレとは、マンホールの上に便座や囲いを設置するだけですぐ使用することができ、し尿を下水道へ直接流せるので臭いも少なく衛生的なトイレのことです。)

【全体】



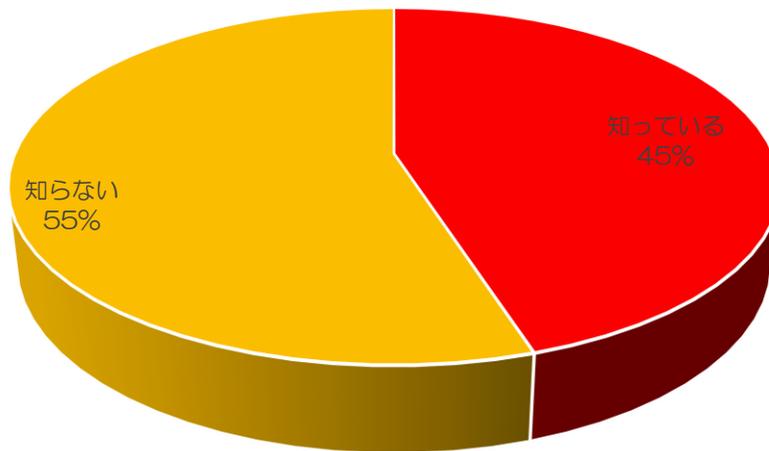
【年齢別】



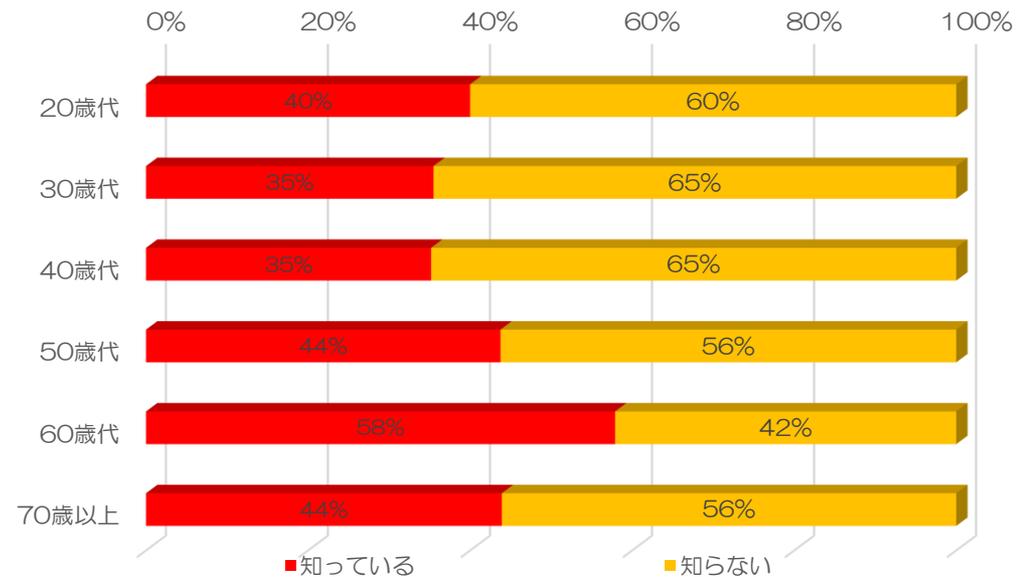
- 「知らない」の回答の割合が72%を占めている。
- 20歳代では「知らない」の回答の割合が100%となっている。
- 50歳代、60歳代は他の年代と比較して「知っている」の回答の割合がやや高い。

問26. 地震が起きたとき、水洗トイレを使用する前に、停電、断水、排水管の破損の確認をする必要があることを知っていますか。

【全体】



【年齢別】



- 「知らない」の回答の割合が55%で半数以上となっている。
- 30歳代、40歳代では「知っている」の回答の割合が35%と、他の年代より比較的低いのに対し、60歳代では58%と唯一「知らない」の回答の割合を上回っている。

問27. 地震が起きた時の下水道に関することで不安なこと気になることがあれば教えて下さい。

全回答 68件

【破損】

- ・汚水が外にもれないか
- ・分断されて道路や家に逆流したりすることはないのか？
- ・破損の確認方法
- ・私はマンションに住んでいますが、下水道の排管はどれくらいの震度で破損するのか不安になる。近所で汲み取り式のトイレを使っている家がありますかなぜトイレの下水道にしないのですか。義務ではないのですか？
- ・排水管の破損の確認はどうすればいいのか？
- ・水道が使用できなくても下水道は使用できるのか。下水道の使用可か不可かはどのように確認するのか。（電気、電話が使用不可のとき）
- ・破損
- ・使用できるかどうか。
- ・下水管が破損した場合、どんなことが起きるのか。
- ・あふれ出たら、不衛生になり心配です。
- ・下水配管・処理場の被害
- ・排水管の破損等。
- ・停電と断水による使用不可の事態発生。
- ・水道管が切れた時。
- ・排水管の破損の対処方法（連絡方法）等
- ・配管の破損は場所により見れない所。
- ・破損により水があふれ出る。
- ・下水管の破損。
- ・下水道の設備が壊れた時の町への影響。
- ・下水管の安全性。
- ・使用不可になること
- ・下水管のつまりによる不便さの発生。
- ・管のはれつ
- ・水が止まる事。
- ・下水道があふれてきたらどうしたらいいか。
- ・排水管の破損。

【トイレ】

- ・トイレに水を流せないこと。
- ・トイレができなくなることです。
- ・おフロの残り湯などを使用し、トイレを使っているのか。近所（地域）の下水道が大丈夫であるというふうなお知らせはあるのか。
- ・トイレが使用できるか？
- ・トイレの流す水の確保、風呂にはいってもためているが、のみ水はペットボトルを用意しているが。
- ・一番不安なのは、トイレの使用です。
- ・トイレの水が使えなくなった時の不安。
- ・トイレが使用可能か否かの判断基準
- ・下水道は見えないので、破損しているかどうかわからない。トイレを使用しているかどうかわからない。
- ・トイレの使用。
- ・トイレ
- ・トイレが使用できなくなったらどうしたらよいか心配。
- ・家庭のトイレ
- ・防災訓練では主に消防署職員が中心となって行われますが、トイレ等の非常時の使い方は教えてもらえません。ぜひ訓練の時に上下水道局のみなさんにも来ていただいてミニ講習会等、行っていただけたら、ありがたいです。
- ・トイレ等の使用ができなくなる事。
- ・トイレが使用不可になった時の対処のし方。また、それが長期化した時の対処について。
- ・正直なところ、断水などはかなり気になり、下水道のことを考えたことがなかった。トイレはやはり心配です。
- ・家庭でのトイレ使用の可or不可の情報についてどのような方法で各家庭に知らされるのか？
- ・トイレが使用できなくなる事。汚水が逆流してこないか心配。（大雨の日、トイレに

下水道ガスが逆流し、トイレが水で濡れたことがあるため。）

- ・トイレが使えなくなる事が一番不安です。マンホールトイレ等全く知りませんでした。とにかく、地震等による断水になった場合、どうしたら良いか、どう備えておけばよいかわかりやすく教えてほしいです。
- ・トイレの数が足りるのか。衛生面はどうなのか。
- ・トイレが使いにくくなる事が不安です。
- ・断水になった時にどこかに使えるトイレがあるのかどうか。
- ・トイレ使用の不可。

【広報】

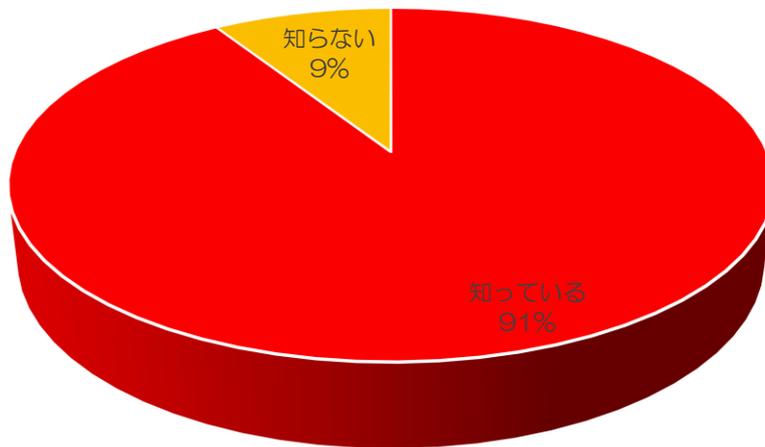
- ・「下水道が使えない」と想像したことはなかった。上水道のみに関心があった。
- ・水道が出れば、下水道の使用可否はあまり意識しないと思うので、こうした情報をすばやく流してほしい。
- ・施設の設置場所の周知徹底 ・簡易所の速決周知と住民へのPR徹底。 ・設置場所（処理）の多数配置
- ・地震後、排水管のつまりが不安視された場合、どうすれば良いか、広報車で知らせしてほしい。
- ・被害地域と復旧時期並びに復旧までの対応。
- ・被害状況と復旧状況の迅速な開示（公報、防災無線等）
- ・ライフラインの緊急対応について。
- ・配管に破損があるか無いか調べる方法を知りたい。
- ・下水道管が利用可/不可の情報はどこから入手すればよいのか。
- ・長い時間水道を使用することが出来ないと困る事がたくさんあります。一日も早く使用できるように家庭で水をためておくのにも限度があり不安です。日頃より貯めた水を長く使用できるようにするくふうなどあれば知りたく思います。
- ・地震が起きた時、まずどのようなことに気をつけ対応（行動）すればよいのか、具体的に知っておきたいと思います。

【その他】

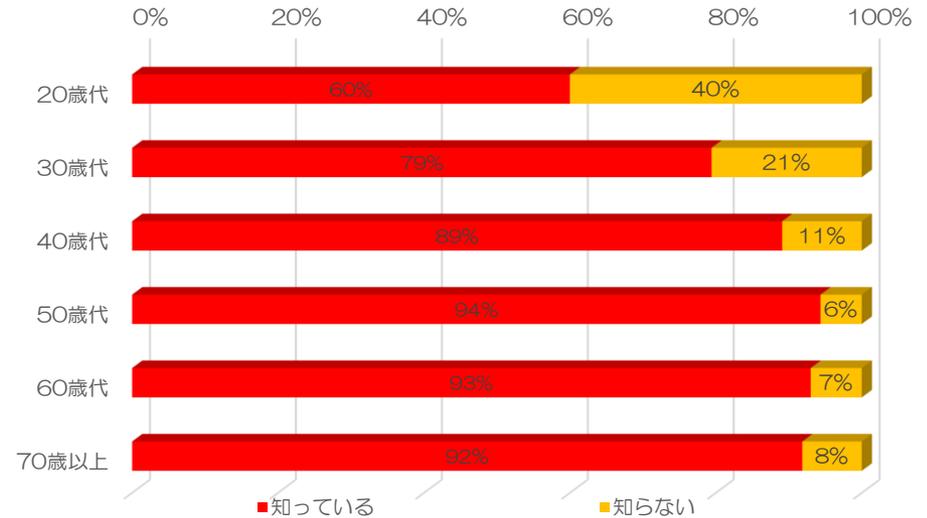
- ・早急に修理出来る様に事前の準備体制を望む。
- ・基本的な大事なこと、今回調査で改めて皆さんによく知られる様になる事でしょう。具体的に今回の経験で周知させよう。
- ・一般木造建築（建売住宅を含む）のバイパス（PS）が破断されてぐちゃぐちゃになり、断水され、あふれ出て汚物等が衛生的に悪くなり困る問題が生じる大問題が生じます。マンション等のRC造でもPSに「たて状」に配管されていてビニール配管がさく状態にあり3～4階で破断され、1階部に汚物等が落ちる「フレキシブル構造」になっている為、大問題が生じる。官庁が力を入れてほしいです。
- ・下水道そのものが破損する事に依る、衛生面での対策。
- ・下水の水が道路にあふれ、床上浸水等で家の中が汚染されてしまい、その時の感染症等が心配。
- ・でも、使用する（確認せず）
- ・下水道がこわれた、使用ができなくなるという地震の被害に会った事がなく、従って不安なことが気になる事もなく生活していますが考えてみると誠に幸せなことと思えます。そんなことが普通であればと願います。

問28. 下水道使用料は水道料金と同様に2ヶ月ごとに徴収されていることを知っていますか。

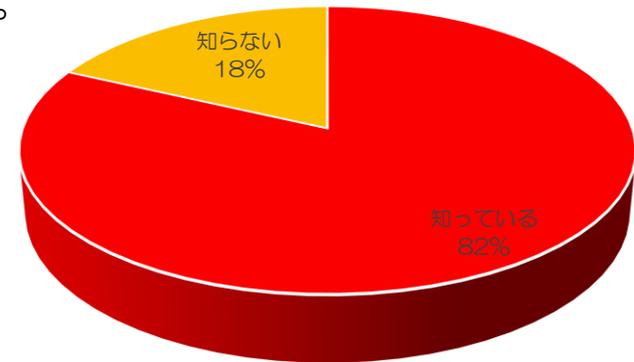
【全体】



【年齢別】



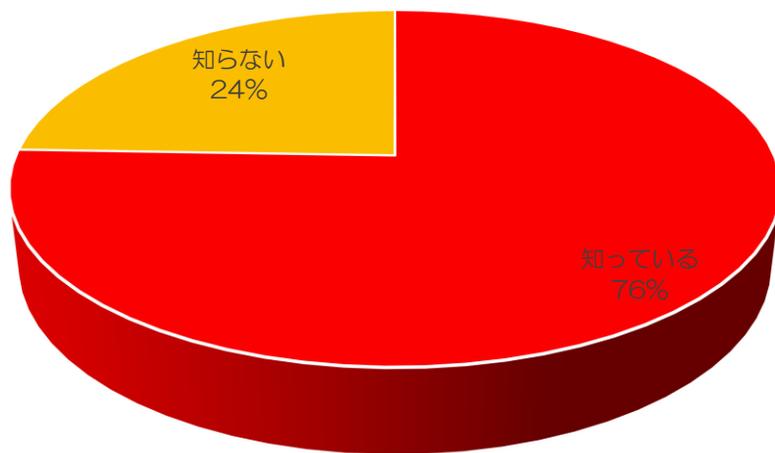
【H25の質問】 下水道使用料は水道使用水量から算出し、水道料金と合わせて請求されていることについて。



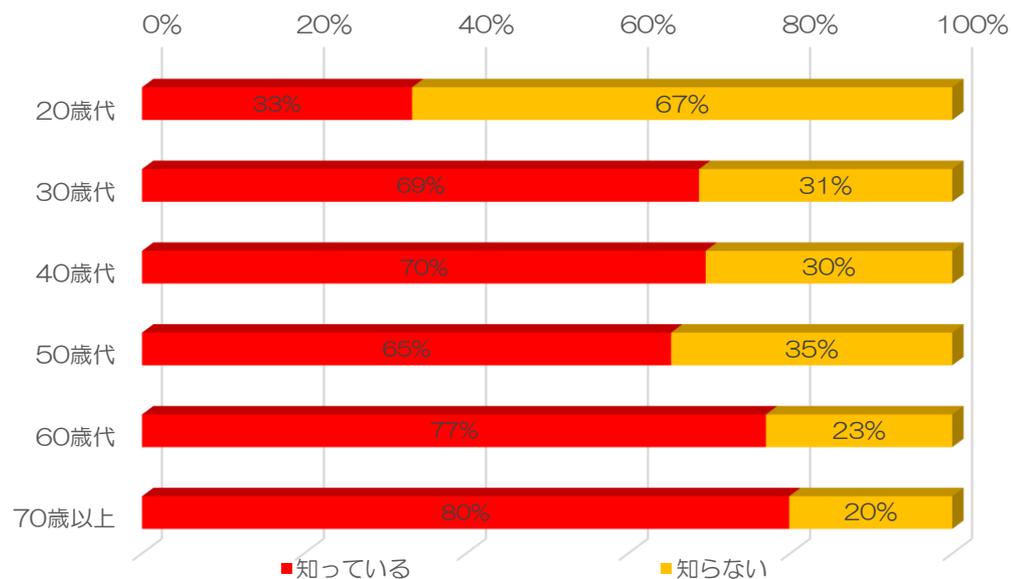
- 「知っている」の回答が91%と大半を占めている。
- 20歳代、30歳代では「知らない」の回答の割合が他の年代と比較してやや高い。
- 前回は質問に「水道使用水量から算出し」の文言があるため、単純に比較することはできないが、「知っている」の回答の割合は概ね高い。

問29. 問28で「知っている」と回答された方にお聞きします。2ヶ月あたりの下水道使用料として、いくらぐらい支払っているか知っていますか。

【全体】



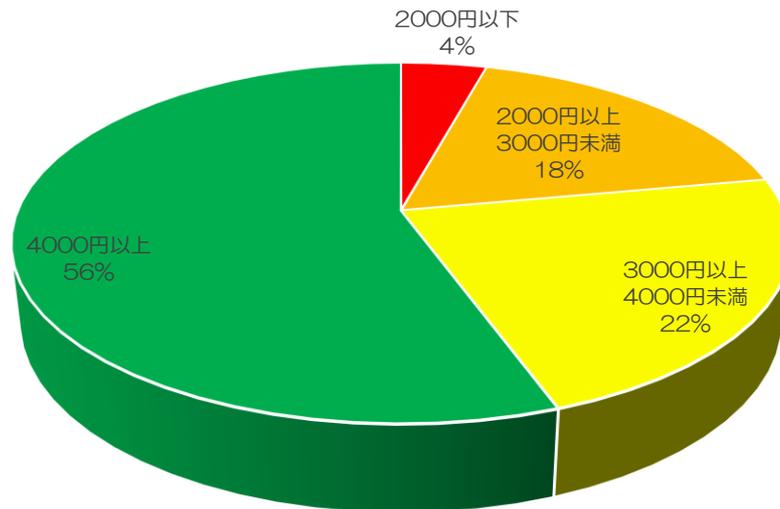
【年齢別】



- 「知っている」の回答の割合が76%を占めている。
- 年齢が高くなるほど、「知っている」の回答の割合が大きくなっている。

問30. 問29で「知っている」と回答された方にお聞きします。実際に支払っている金額を教えてください。

【全体】



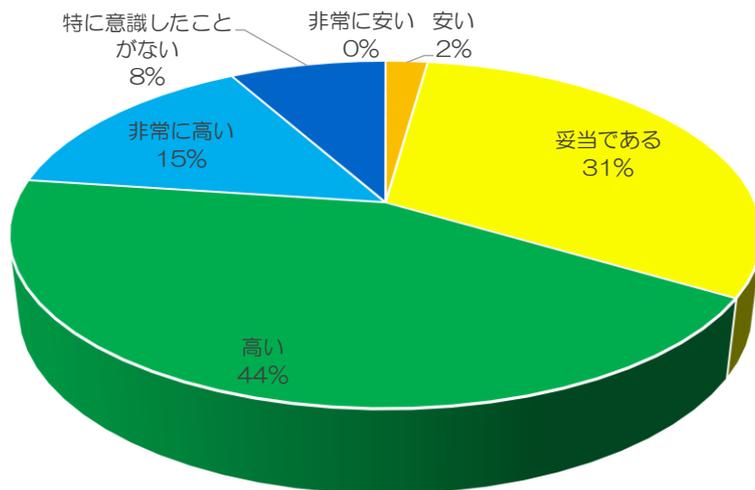
【年齢別】



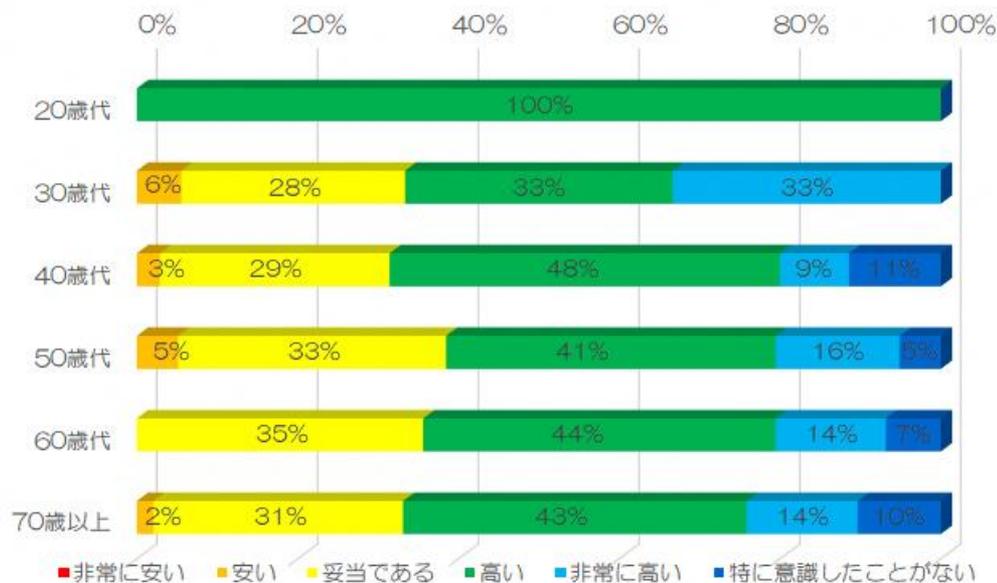
- 「4000円以上」の回答の割合が56%と最も多く、次いで「3000円以上4000円未満」が22%で続いている。
- 年齢別に見ると、回答数の少ない20歳代を除き、「4000円以上」の回答の割合が50%程度となっている。

問31. 問29で「知っている」と回答された方にお聞きします。下水道使用料についてどのように感じますか。

【全体】



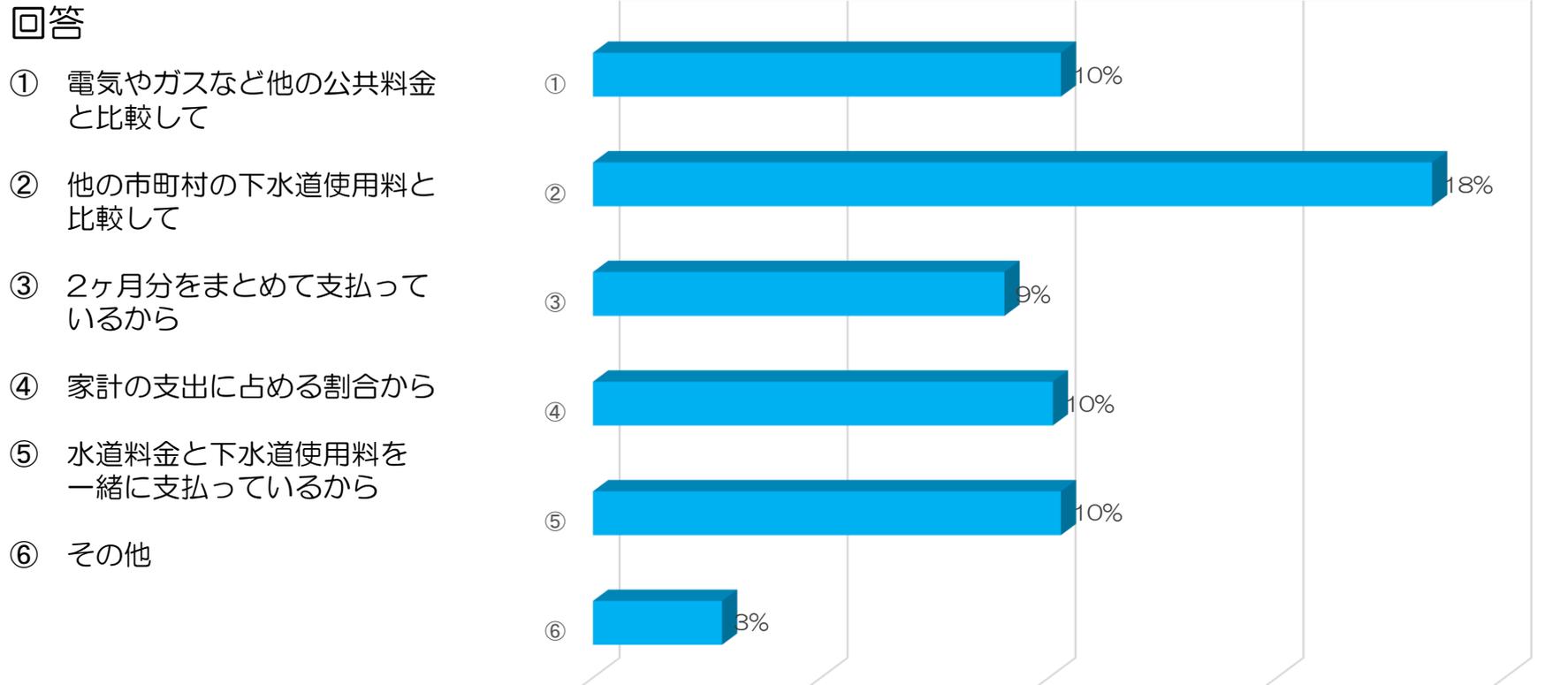
【年齢別】



- 「高い」の回答の割合が44%と最も多く、「非常に高い」と合わせると59%となり半数以上である。
- 年齢別に見ると、回答数の少ない20歳代を除き、「妥当である」の回答の割合は30%程度で差は見られない。「高い」「非常に高い」の合計は、30歳代で66%と他の年代と比較して最も高くなっている。

問32. 問31で「高い」または「非常に高い」と回答された方にお聞きします。なぜ、下水道使用料が高いと感じますか。

【複数回答可】



- ・ 「他の市町村の下水道使用料と比較して」が18%と最も高い。他の回答は10%程度となっており、差は見られない。

問33. 問32で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

全回答 17件

【他自治体比較】

- 私は大阪市から引越ししてきましたが川西市は上下水道使用料が高いように思います。水道水の味が違います。消毒の臭いが季節によって強く感じる場合があります。川西市はいろいろな広報や情報誌、水道、ゴミ、市民だよりにカラーにしたり紙しつが無駄だと思います。川西に住んでいる友人の上下水道料金を聞くと大阪の友人より料金が高いです。川西の人たちは節水の意識が低いと思います。
- 近くの市と差がある。年間にすると大きい！
- 2カ月に一度の引き落としでも外の市にくらべると水道料金が非常に高い。
- その他、他の市町村と比較して、高いor安いと感じなかった。（深い関心がなかった。済みませんでした）
- 昔住んでいたところより高いところ。
- 尼崎市から来ました。川西は企業が少ないため水道代が高いと聞きました。実際尼崎と同じ様な使い方をしてるとすぐ10000円超になります。

【他料金比較】

- 電気代 28,000、水道 12,000、ガス 15,000 ”昔、千里山に住んでいました。水道代安かった。”
- 上・下水道合算で考えている。下水道だけの料金などはわからない。

【全体感】

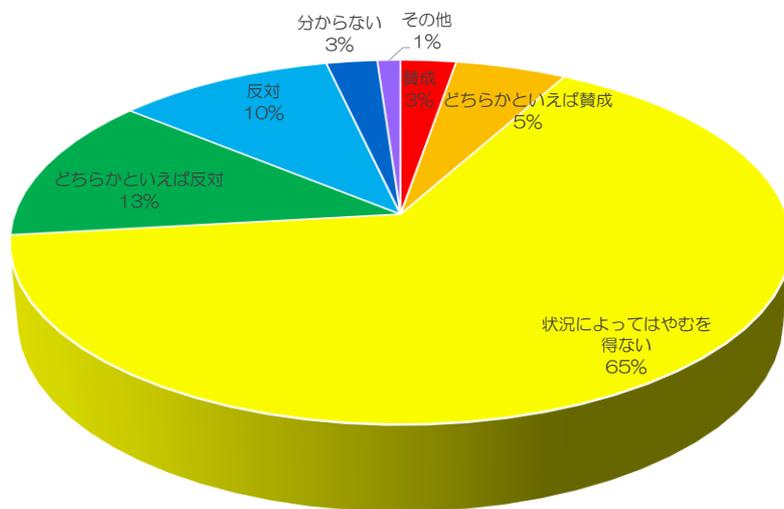
- 生活用水以外に庭木の散水に多く使うので使用水量に比例する下水道料金では割高と感じる。
- 使用後の水は溜めてほとんど・庭の植木用・ガレージの床（タイル）荒に使っています。
- そんなに使っているとは思わない。
- 積極的に下水道を利用しているというイメージがうすくただ流しているだけという感覚が強い。家計には厳しいイメージ。
- 1人ぐらして病気でトイレをつかわなくなっても料金が変わらない。
- 井戸水を使っている人は下水道料金を払っていない！！

【その他】

- セメント等を工事する時（工事の関係で）モルタル状にする為、水は雑用水として1袋当たり水は雑用水として、3~4倍必要となる為、高すぎます。
- 季節によって水の使用量が大きく差あり。
- 水がきれいであれば気にしない！

問34. 現在、人口減少による使用料収入の減少や下水道施設の老朽化による改築工事の増加などの問題が進んでいます。それらの問題に対応するために下水道施設の維持管理の徹底などコスト縮減を図る取組を行っています。こうした状況の中、さらに問題が進んだ時に下水道使用料が上がるとした場合どのように思いますか。

【全体】



【年齢別】



- 「状況によってはやむを得ない」の回答の割合が65%で最も高い。
- 「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は23%となっており、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計の割合8%より高い。
- 年齢が高くなるほど「反対」の回答の割合は小さく、「賛成」の回答の割合は大きくなる傾向にある。

問35. 問34で「その他」を選択された場合、具体的内容を記入してください。

全回答 12件

【使用料負担増への懸念】

- ・ 川西能勢口駅の開発で下水管理等で負担増になるのは問題。又、都市部が恩恵を受けるため。都市部は都市部で別料金にすれば良い。
- ・ 他府県と比べても料金が安い。
- ・ 基本が賛成だが、できるなら、使用料を上げてほしくない。
- ・ 必要経費は当然払わなければならない。ただ、お役所仕事でホイホイとやられてはとうしようもない。何事もシンケン！！に。
- ・ 水道代が高い 1人ぐらしなのに水道代が高すぎる。

【その他】

- ・ 私道内で60年以上そのままの古い上下水道を利用しています。健康面で不安です。私道内での配管も調査の上対応（公道部分は良く工事されていますが）願います。
- ・ 民営化
- ・ 1、同一河川流域市町と比較（人口、費用、方式） 2、同じく事業共同化（非民間、各市町共同出資会社運営）による効率化・推進 3、全国他市町の効率モデル学習、一部移植検討。 ※1,2,3は既に実施中と思います。優秀な経営状況の内に願います。
- ・ 雨水や風呂の排水を「貯水し、便所等に安価で利用する方法」があれば、新築時に導入、助成するのは如何？特に集合住宅（マンション棟）では下水用水槽等を設置し、川の水を簡易浄化し、利用する。特に川に近い場所は最適と思われるが。安直なアイディ、思いつきで申訳なし。
- ・ 市役所の方々と業者がPS（パイプスペース）が？設計して、前回（27）に記した様に。フレキシブル構造の様にゆれに対応出来るように設計をして、各マンション等の管理組合に御教示して頂けないでしょうか？（大至急）必要と思います。

【不明】

- ・ 専門的な事は全く分かりません。
- ・ 問題が進むとしても其の中身が分かりません。

問36. 問34で「どちらかといえば反対」または「反対」と回答された方にお聞きします。下水道使用料を上げる以外に下水道事業の問題を改善していくためにどのような方法をとる必要があると考えますか。

全回答 62件

【税金・公費等】

- 実際問題として使用料を上げるしかないのかなと思うのですが、上水道使用料からまわしてもらおうとか値上げとなると生活にひびくので。
- 税金当入
- インフラについては国税でまかなってほしい（市町村で金額が異なるのは不公平感あり）
- 市税等を市民生活に直結することに合理的に当てる。
- 市民税で対応する。
- 物価や消費税が上がるこの世の中、生活する事が苦しくなっているにもかかわらず、使用料を上げられると大変困ります。税金なり市の方でどうにか対処して欲しいです。住みやすい街作りを目指してもらいたい。（市民の負担は減らして欲しい。）
- 税金の使い道を考え直す。
- 土地開発公社やキセウ地区の税金の使われ方等の問題を納得できる説明をしなければいけない。
- 公費
- 直接使用料を上げるのではなく、市での下水道事業に対する助成金を上げてもらう必要がある。
- 国が対応するべき。
- 市から補助金などを受ける。（税金などをもっと下水道事業の為に有効に使うなど。）
- 税金でまかなって欲しい。
- 税金のムダ使いを無くす。税金の使用された内容を市民に明確にしてほしい。
- 国からの補助を受ける。
- 一般会計からのくり入金の比率を検討してはどうかと思います。
- コストを下げる為に技術の向上などを計り、市民生活を守って欲しい。税金から予算を計上して欲しい。
- 税金をうまく適切に使用してほしい。

【市の政策】

- 市の財政改革、見直し政策等 新市長はやるでしょう。
- 人口減少などの対策を重点的に各町村単位で住人をまき込んで考え収税を増し財源を確保することが重要。改めの市の政策がないと値上げしか施策がなくなり、高コストの市になり人口減に繋がる。
- 上げる前に市の最大限の事業見直しをすべき。努力をせずに市民に負担をしいるのはいかなものか。
- 人口減少の対象に取り組む。
- 総合的な予算の見直し。
- 無くてはならないライフラインの一つである事から、優先的に改善等を行えるように抜本的な予算編成の見直し。
- 公務員をへらす。（国会議員も含む）
- 無駄な人員の削減、IT化。

【広報】

- 維持管理の問題点をPRし、改築費用の軽減のための利用者への啓発活動。
- 申し訳ありませんが、一市民としては具体的な改善策まで提案するほどの知識を持ちあわせません。水道局さんの方でどのような打開策を考えているのか、それは、どこか専門家等から提案のあったもので合理的なのかといった辺りの情報があれば判断しやすくなると思います。理由不明で意見を定めることもできず、まあ反対と書きました。
- 水の有効利用 食器の洗い方、洗たくの仕方、散水方法等、水は豊富にあるとの考えから貴重な資源の考えから、使い方の方法の勉強会開催など。
- むづかしい問題です。「ゆっくり」と「充分に」「広く皆さんと」「色々な方法で（アンケートをしなから）」行う必要があります。
- 役所がどの様な対処をしているのか、何に困っているのかもっと一般にPRしてほしい。
- もっと全市民の節水意識を高くして節水にはげむ！
- 台所に油を流さないことやトイレにトイレットペーパー以外流さないなどの注意事項や下水道がいかに安心な街作り役に立っているかなどの啓発をもっと行うといいのではないかと思います。
- 美味しい水が飲める意味を市民が理解する、理解出来るしくみ。

【使用料】

- 具体案は提示できないが、今でも下水使用料の方が水道使用料より高額なのに、これ以上の値上げは考えてほしくない。全国的に考えても川西は住みづらい気さえしているのに、下水まで。
- 他市（伊丹市）との使用料差がなぜこれほど大きいのか？この原因から対策を打っていただきたい。
- 現在でも高いため、これ以上水道代が上がると厳しい。
- 伊丹市から来ました。伊丹市にくらべて、料金が高いみたいです。
- 現状の料金で努力すべきです。
- 申し訳ありませんが、わかりません。でも、水道料金が年金生活者の私共に負担になっている事は確かなのですが。
- グリーンハイツは他の市に比べ余りにも水道料金が高すぎます。
- 出来るだけ料金をおさえて下さい。
- どうして他市と料金に差がでるのでしょうか。同じ生活必需品なのにおかしいです。他市はなぜ安くできるのか、その差をうめてほしいです。
- 上がったら普通に困るだけ。
- 方法は解りませんが下水道使用料の負担は賛成ではありません。
- 公共料金（光熱費）全体的に年金生活をしているものからとったら非常に高すぎると思います。年金は減らせる もっと安くしてほしいです。（電気、ガス、水道）願っています。

【広域】

- 人口減少に合わせて、施設自体も縮小。将来的には周辺市町村とも協力していく。
- 市町村合併
- 年金生活での値上げは生活苦になる。市役所全体での節約コストダウン（下水道局だけのコストダウンは無理がある）民営化等、低所得者への値下げ。

【技術】

- 使用量メータの検針方法 電気、ガス、水道がそれぞれ別々に検針されているが3社で話し合い、検針専門の会社をつくり一人で同じ日に全部検針するにする
- 下水処理水をトイレ用水にも利用出来ないか。
- 汚水の処理の仕方研究、コストのかからない方法
- 「市役所の方々と業者がPS（ハイクスペース）が？設計して、前回（27）に記した様に。フレキシブル構造の様にゆれに対応出来るように設計をして、各マンション等の管理組合に御教示して頂けないでしょうか？」御検討下さい。
- 工費等の再点検。

【その他】

- 今までの対応の行政の（（38）のこと）遅れを民間に移管するのは反対。
- 年収の多い世帯に募金をお願いする。
- 儲けることを考える。
- 老朽化については、対策が遅すぎだと思いましたが、税金も上がる中方法はわかりません。
- 現状思いつかない。
- わからない
- 解らない
- わからない。

問37. 下水道使用料について意見や気になることがあれば教えて下さい。

全回答 54件

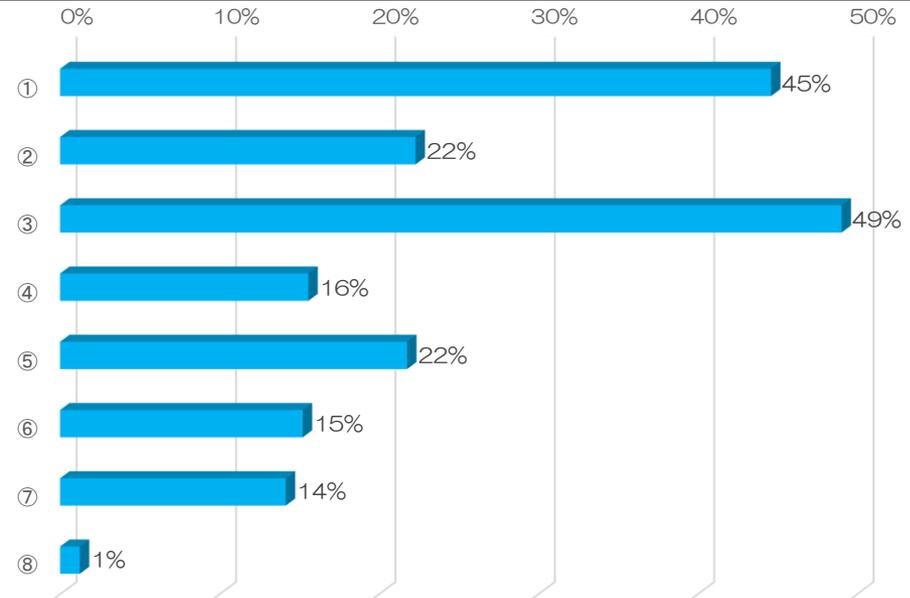
- 【使用料】
 - 料金のコスト構造がいまひとつ不明。
 - 今まで下水道使用料にお金がいるとは気にかけていなかったのが今回あらためて見る事にしたのですが、水道料金以外に使用料を取るのが解らない。これってお金がない人でもとるんですか？知らない間に引き落とされるんですね。
 - 使用料の総徴収額、支出の明確な内容など、発表がいつどこでされているのですか？市民からのお金ですので分かりやすく伝える方がいいと思います。
 - 何を基準に決められているのか？
 - 料金計算基準を明確にし、わかりやすくPRする事。
 - 下水道使用料は上水道使用料から割り出しますか。庭にたくさん水を撒いています。
 - 下水道使用料の収支報告を広報等で知らせたら？実際していたら失礼。
 - 下水道使用料を確認したところ2ヵ月で¥4,000以上でした。今後もし使用料が上がると辛いと感じました。現在どのような問題があるのかを具体的に知りたいと思いました。
 - 下水道使用料の決め方。
 - 合流式との使用料の違いについて。
 - 市民に負担を出来るだけ少なくするようにして下さい。特に川西市は（34）現状から今後が気になります。
 - できれば安い方がいい。
 - 伊丹、宝塚にも住んだ事がありますが川西の水道料金の一番高い事にストレスを感じます。これ以上上がるのかと思うと伊丹、宝塚に再び帰るかもです。
 - 年金生活で毎月ギリギリ切り詰めてやりくりしています。お風呂は3~4日に一度シャワーで済ませています。これ以上使用料が上がらないようお願いします。
 - 1、設備の老朽化 2、人口減少 等の問題はありますが現代の料金を維持する様な努力をして欲しい。
 - 上下水道の施設が老朽化により改善工事が必要であることはよく分かるが企業努力を重ねて適正料金化に努めてほしい。
 - 生きていくうえで必要不可欠なものなので、貧しくても払える額でないといけない。
 - 他の自治体にくらべ川西市の下水道代は高いように思う。
 - 一気に高額となる事。
 - 料金の高い事。
 - 近隣都市と均衡のとれる料金にする。
 - 以前住んでいた市に比べ、水道料金がとにかく高い。
 - 生活弱者側の事を考えて使用料を決めてほしい。下水道は絶対必要な物なので年金生活者や低所得者の方々は支払いが大変だと思う。
 - 高すぎる。
 - 少しでも安くなると助かる。
 - 使用料を下げて欲しい。
- 【ご理解】
 - 日々生活の中で安全でおいしい水が飲めたり、散水に利用したいが極めてあたり前と思っている心があります。そうではないと思知らさせられることが起こらないよう、どうぞよろしく願いをいたします。
 - 生活していく上で必要だと思ひます。
 - 都市計画的に人口集中地区を想定し、料金を段階的に多様化してゆくことも必要かも知れないと思ひます。
 - 下水道自体が老朽化してきているため多少の負担増は仕方のない事。ただ、年齢的に上っていけば、年金生活となってくるため、負担も厳しくなってくる。
- 具体的な使用料の引上げ額をにらみながら皆さんの意見を集めながら適当な所で妥協点を見付ける必要があります。
- 下水道について、ほとんど意識したことがない点や知らないことがほとんどであったことをとても恥ずかしく思いました。私たちの生活を良くするために、知らないところで、頑張ってくださいの方々をもっと意識していきたい。今回はとてもいい機会を頂きありがとうございます。
- 下水道について全く知らなかったため、今回のアンケートでその様に使われているのを知りました。自分の知らない所で色々な取り組みをされていて、もし老朽化で料金が上がったとしても仕方のない事だと思っています。家でも一生住めるわけでもなく、修繕は必要な事なので。水道についても一緒に必要な費用だと思ひます。でも費用を下げる為に、市民が協力出来る事があれば良いと思ひます。
- 老朽化の問題があるのでよく工事が行われているが使用料も増額される時が来るのかなあとということが気になります。
- どのように使われているかが明確に分ければ協力したいと思います。
- 毎日お風呂に入って台所とかでも水を使って2ヵ月での請求額を考えると3人が銭湯に行ったりしていたらとんでもない金額になる。だから高いような気がするがほとんどの所は安く使えてると思う。
- 下水道など目に見えないので高い！と感じるのかも知れません。流した時点から見えない！水道は水が出ているからわかる。
- 【維持管理】
 - 老朽化
 - 施設の老朽化に対して、さらなる技術の向上によってローコストを実現してほしい。
 - 今迄き間も不安もなく、毎日使用していました。どんな状態になっても今迄通り不安なく、使用できる様にお願ひします。
 - 定期的に下水本管などの洗浄などを行って予防保全を行ってほしい。
 - 下水道の浄化時間に掛る時、家庭での流しかたで短縮されるのか。
- 【民営化】
 - 市民の命を守る水なので民営化等にははいけなない。工事に関しては官公というところで工事業者には選定してほしい。市民の血税をむだにしないでほしい。
 - 民営化については強く反対。多少使用料が上がったとしても民営化は強く反対。
 - 安易に民営化の方向に進まない様にしていただきたい。
 - 民営化には反対 上下水道はコストがかかっても行政で行うべき。※安全・安心な環境を確保するため。
- 【その他】
 - ダム管理、今年は去年同様よろしく！
 - クレジットカードによる支払いを可能にして欲しい。
 - この様なアンケートをとると言う事は下水料金の値上げの為の根回でしょうか？
 - 同になし。
 - 同上
 - 同上に関係します。
 - 同上

問38.あなたは、今後の下水道事業で力を入れるべき点はどのようなことだと思われますか。【複数回答可 3つ以内】

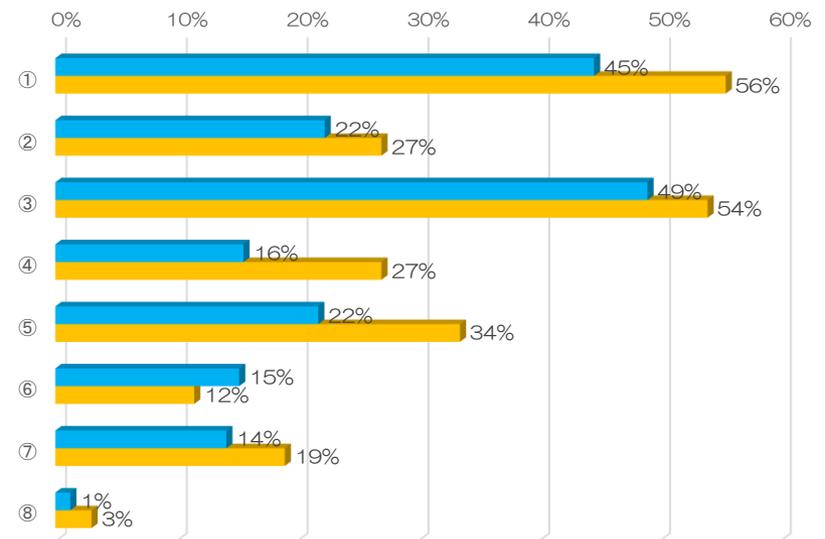
回答

- ① 下水道施設の耐震化
- ② 浸水対策の推進
- ③ 下水道施設の適切な維持管理
- ④ 下水道未整備地区への整備
- ⑤ 現行の下水道使用料体系の維持
- ⑥ 技術職員などの人材育成
- ⑦ 広報誌、ホームページなどによる情報提供
- ⑧ その他

- 「下水道施設の適切な維持管理」の回答の割合が49%、「下水道施設の耐震化」が45%と上位となっている。
- 前回より「技術職員などの人材育成」の回答の割合がやや増えている。



【H25との比較】



問39. 最後に、川西市の下水道に関して意見等ございましたらご記入ください。①

全回答 97件

【感謝・御礼】

- 関係者の方々良くやっているとっています。御苦労さん、ありがとう。
- 職員の方々のお力で毎日不自由なく生活ができありがたく思います。水を大切に使う気持ちを全世代に知ってもらわなければならないと思います。
- 日々御苦労様です。子供達に見学会等を通じ、事業を理解してもらおうのはいかがでしょうか。
- このアンケート自身がとても勉強になるものでした。予算等制約もあることですが、今後よろしく願います。
- 特に問題はありません。今後共、現状維持に努めて下さい。
- アンケートに答え、知らない事ばかりです。1,000人以外の人にも知って頂きたいですね。一生けん命仕事されている事がわかりました。これからも川西市の為に頑張ってくださいね。
- 初めての心見です。何となく生活しています。有りがたく思っています。考えたことがないので申し訳なく思っていますが、今回この様な下水道に関する取り組み反省して生活します。
- 衣食（外食）住にくらべると水道料金や下水道使用料は大した額ではないのですが、人間は厚かましいものですね。いつもいつもお世話になります。
- とにかくやるしかない？
- 関係者全員に期待している！よろしく願います。
- 適切な下水道の維持管理をお願いします。日頃、見えないところで頑張ってください、感謝です。
- 川西市は猪名川のおかげで水が豊かで感謝しています。きれいな川を維持できるように取り組んで頂きたい。災害対策として単に護岸せず、魚や生物多様性を守りながら川と共生する川西市をめざしてほしいと思っています。
- このアンケートで、今まで知らなかったことがよく解った。広報誌配布だけでなく今後も時々やってほしい。
- 今回アンケートをみて、いろいろ、大へんな「かんり」をして下さっている事に感謝します。神戸の地震の時もなんの心配もなく使用しましたが、洗たくして流してもいいのかなとしばらく様子を見た事を思い出しました。何事もなく使用出来るに感謝します。
- 毎日使っている水道の事、知らない事が多すぎました。ホームページも見てみたいと思いました。
- 先日水道管の取替工事をして頂き感謝致しております。寒い時に丁寧にやって頂き一度に取替工事をして頂くのは大変なこととお察し申し上げます。
- 水のありがたさを普段はあまり考えず、あたり前の様に水を使っています。このアンケートを機に知識のなさとお恥すかしく思います。情報をしっかりと勉強しなければと思いました。
- いつも気持ちよく生活できるのは十分な管理に努力していただいているおかげ ありがとうございます。頭だけ働くことなく（厚労省ほか～）現場大事によりしくお願いします。
- 空想的な未来像をえがき乍らも、目の前の対処方法が未来につながる施策を行って下さい。期待しています。
- 普段、下水道を意識しないで生活できてるのは係る方の努力のたまものと思います。ありがとうございます。
- 日々、みなさんの努力によって衛生的な生活ができていると感謝しています。近い将来起こるとされている南海トラフ巨大地震に備えて、みなさんの更なる技術力向上に期待しています。
- 今回の思い切ったアンケート調査を始めた事。ご苦労さまです。あわてずコツコツと

実行して下さい。当局の努力を期待しています。

- 大和西5丁目に住んでいます。川西大和第1汚水中継ポンプ場の点検・メンテナンスなどありがとうございます。家の方へ逆流したときにはすぐに処理していただきありがとうございます。感謝いたします。これからもよろしく願っています。
- このようなアンケートで改善に向けて努力されていることに感謝いたします。大変お世話になっています。
- テレビを見るとたいへんな所多いけれど、川西市は災害も少なく今は何もなく生活しています。これからも、あんな水、快適なくらしをよろしく願います。
- これからも地域のため、がんばってください。
- 以前住んでいた家では、とても高い（料金）だと思っていました。おそくなって申し訳ありませんでした。よりよくなる様に願っています。
- 私自身、定年前は上下水道関係に少なからず関わって参りましたので、市職員様の並大抵の御苦労がよく理解でき、常に感謝しております。又諸外国に比較して日本のそれは、素晴らしいと存じています。何かと問題はあろうかと存じますが、何卒、一つ一つ着実にこなして下さい。
- 特になし。頑張ってください。
- 水質の安全 何よりもありがたく思っています。災害、事故の多い今日安心して水のお世話になれるように願っています。安心・安定の供給を願います。
- 環境、浄化、ライフラインの重要性を再認識しました。お陰様で満足な生活ができています。ありがとうございます。
- このアンケートが送られてくるまで正直なところ下水道事業に関してほとんど意識したことがありませんでした。（すみません）普段当たり前に使っていることが災害やトラブルで使用できなくなったときあわてたり重要さに気づくのでしょうか。でもそれではいけないと今回改めて感じました。市民への情報発信をさらにお願いと共に自分自身も意識して理解するように努めたいと思います。
- 約40年前川西能勢口周辺に住まいを持ちましたが、下水に関してはとても不衛生な場面があちこちに見られましたが、転勤等で川西を離れていましたが、関西に帰り川西市に住まいを持ちましたが、とてもきれいな町になっていました。途中で北部に住まいを移しましたが、下水等に関しては何の問題もなく猪名川もクリーンアップ作戦等できれいに保たれるように各々関心をもつようになってきたと思います。
- 本来なら上水道よりも大切にしなければならぬ下水道なんだろうが、ほったらかしになっていることに気づきました。アンケートも大切だと感じました。ありがとうございます。
- 人口減やコストが掛かったりで厳しいのが現実ですが、官でないと出来ないこともあるのでは。我々利用者として一人ひとりが協力出来ることは実行し、協力し、最大限の費用対効果があることを願うのみです。

問39. 最後に、川西市の下水道に関して意見等ございましたらご記入ください。②

【使用料】

- 上下水道料金は非常に高いと感じている。そのうち下水道料金が占める割合がわからないため意見を開示出来ない。
- 他の市町村の安い地域に料金を近づけて頂ければありがたい。
- 料金が他市と比べ高すぎる。
- 1.下水道使用料金が低い。2.小河川に根を張った樹木の切除が出来ていない。公園の植林伐採より重要でないか。
- 昔は水道代が安かったが新しい住宅が多く建って北の方といっしょになってから大変高くなった。風呂も水が高いため2〜3回同じ水を使用して週に1回しか使わないトイレも2回使用して流すようにしているのに一人暮らしで¥5,000払っています。地区によって安いところと高いところがあってもよいのではないですか。考えてみてください。
- 出来れば2か月に1度の支払いじゃなく、毎月の支払いにして欲しい。まとめてくると高く感じます。
- 他の市に比べると使用料が高いと聞きます。使用料が下がるとうれしいです。
- 一庫タムが有るのに料金が他市町村と比べて、割高になるのはなぜか？
- 川西市の下水道料金は高いと思う。
- 平成18年11月末現在の住宅に入居 家族2人。水道使用量と料金が高いので調査してほしい。お願いします。使用量と料金は別紙に書いた通りです。→別紙と本アンケートp8コピーを料金担当に渡し済み
- これ以上料金が上がらない様にしてほしい。
- 他の地域の事を思えば非常に料金が高いです。
- 水道料金が大阪市の2倍近くです。これ以上料金を上げないで下さい。
- 水道料金をもう少し安くなるとうれしいです。
- 私の場合は料金のみ収入ですので物価の高とうと共に公共料金の上昇は生活に大きく影響いたします。
- 使用料を下げたい。

【広報】

- 広報が不十分だと思います。
- 水路工事の内容と日程が杜撰であった。また、事前の説明がなく、工事にかかる直前に通告してきた。近隣住民に対する「事前説明」をおろそかにすべきではない。
- 少子高齢化、人口減少の中、介護保険料や税金の値上がりなどこれから考えられるので、下水道料金等の値上げもいたしかたないと思うが、適切に市民への説明の責任があると思う。
- 前のページでも書いたように川西の人達は節水に対して意識が低いと思いました。
- 耐震化、浸水対策も大切だと思いますが、現状を把握していない。(現在の耐震性、浸水への備え具合)ため、答えられませんでした。いろいろ大変だと思いますが、がんばって下さい。
- 水資源を維持するために必要な水の使い方、界面活性剤、化学肥料、加臭物質の流出防止等の啓発を指導も大切と思う。
- 大雨の時に家の裏の用水路の流れが悪く雨水があふれ浸水しそうになります。用水路の先に何かが詰まっているのかも知れませんが誰が管理をする場所なのかも全くわからず、毎回ヒヤヒヤと様子を見るしか仕方ない状態です。定期的に溝そうじが行われる様子も決まりもなく、どうしたら良いのかもわかりません。そういう場合の対処方法を広報でなり、知らせてもらいたいです。
- 子供達にもし下水がなければどうなるかを教育すべき。処理のしくみより重要と思います。

- 現在一般的に人口減や少子化等で水道の使用量が減少し、あわせて下水道使用料収入も減少しているでしょう。その時安易な料金改定をするのではなく、局内の事業運営の効率化等で対応してほしい。またその時の情報公開が最も重要です。
- 下水単体ではなく、浄水、国崎クリーンセンター等、他の環境に影響のある団体やイベントと同時に協力して情報発信されてはと思います。下水道事業はなんとなくマイナーなイメージが・・・(申しわけないですが)
- すみません。下水道についてあまり解っていませんでした。水道料金が2つに分かれている事は知っていましたがイマイチ理解できていません。ゴミ分別帳のように詳しく説明してくれる冊子があれば良いと思います。
- 仕組や料金設計等も含めて、もっと告知が必要(広報誌以外のツールの活用)

【維持管理】

- トイレの詰まり等で修理代をばったくれた経験がある。川西市内の業者で普通に代金の請求のできる業者を案内してほしい。川西の業者も守らなければいけないから。
- 下水道についてあまり知識がないので今現在は特に不満などはありません。今後老朽化などの問題もでてくると思うので、維持管理をきちんと行ってほしいです。
- 家の排水口から流れ出る水は出来るだけつまるゴミを取り除いて流しています。マンホールキーがついていないマンホールがありますので、マンホールキー付きのマンホールに更新して下さい。非常に危険なので大雨時など。
- 私道だが水路が詰まっている。→流れ出すところがない。以前はあったが、その排水路をうめている。大雨の時となりの家は庭に水が入っている。越田市長なので命を守ることに尽力して下さいと思っています。
- マンホールの点検をしている所をあまり見た事がない(特に自分の家の前)西友の西道路側。
- (10)(38)について 近年豪雨で問題が起きていますが、道路横にある溝の掃除に関して、個人自治会でも気を付けていますが、台風後なども、市から掃除に来るということはなく、落葉などで泥が堆積している所があります。市の環境課の担当かと思いますが、機会があれば問題提起して頂きたく思います。連携した部分があるかと思いますがよろしくお願いします。(雨水が流れないかと危惧しております。)

問39. 最後に、川西市の下水道に関して意見等ございましたらご記入ください。③

【民営化反対】

- ・ 民営化はしないで公的事業を維持して下さい。
 - ・ ・各地で老朽化した下水管の取り替えが進んでいないこと、また、費用がかかることなどが問題となっているが、川西の状況がどうなのか知りたい。・上下水道事業の民営化の是非がニュースになっていたが川西でもそのような民営化の動きがあるのか、知りたい。
 - ・ 民間事業者への事業委託は反対です。業者の利益確保のために料金の上昇が想定できる。
 - ・ 民営化は反対。
 - ・ 将来においても川西市において下水道を管理維持して欲しいと考えております。民間の業者に任せる事のない様にして欲しいと考えます。
 - ・ 上下水道の管理運営は他業に委託せず川西市の方で100%の管理運営を続けて頂きたい。
- ・ 当方 ・一級建築施工管理技士・管工事施工管理技士・土木施工管理技士・造園施工管理技士・電気施工管理技士・？施工管理技士 一応有資格者ですが、老令です。感じたことを述べさせて頂きました。
 - ・ トイレの水に関して、水道水ではなく、雨水、風呂の残り湯等を使用できる工夫をしてほしい。トイレの流す水と飲み水が同じであることが、常々もったいないとも思う。
 - ・ 特になし
 - ・ とくになし
 - ・ 特にありません。

【災害対策】

- ・ 災害を意識した対応をよろしく御願います。
- ・ 下水道事業に不満が。例えば断水などがめったに起こりませんし、従って極めて当たり前と思って生活しておりますが、地震など起こると大変なことがよく分かります。どうぞ維持管理だけでも大変だと思いますが、どうぞよろしくおねがいいたします。
- ・ ・山が多いので、坂の上に住んでいる家の災害時の下水使用の注意が知りたい。・また人口減による整備の対策は早めにしてほしい。

【広域化】

- ・ 詳しい施設内容は判りませんが、市単位で事業を行わず、統合化を進めて、業務の効率化を図るのがよいのではないかと。県単位とか、もっと広い地域単位での一体化は出来ないのでしょうか。
- ・ 河川流域又は周辺自治体との協力がないと自治体境界値は断絶します。

【その他】

- ・ 下水道処理場の残留物の再利用など産学共同で考える必要があると思います。清掃局の残留物などと合せて、複合利用できるものもあるのではないのでしょうか。
- ・ 日々努力して下さっているとは思いますが高い税金を払っているのが当然と思っています。
- ・ 川西に住んで25年になります。そろそろクレジット払いが出来る様にしてほしいですね。期待しています。
- ・ 生命に関する一番の資源ですのでよろしく。希望として塩素をもっと少なくしてほしい。ポット等に白いかべが出来るので。
- ・ ・設備の老朽化早期対策 ・配置職員の効率化と能力up対策 ・日頃からの知識（効率化に向けての向上対策） ・管理職の能力向上、管理職upへの日頃からのジョブトレーニング ・市長による適切な現場への視察の実行
- ・ 色々とお苦勞はあると思いますが、川西市全域において下水道の普及が早急に100%になる事を望んでいます。その為に市の職員のみなさんの意識を高め取り組んで頂きたいです。どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・ 封筒1枚にしても、もっと安価なもので良いのでは。民間社はそこまで節約している。当用紙もしかり。
- ・ ネズミ、ゴキブリ等が発生しやすいので定期的に薬をまくか下水道の消毒何が良いか対策をお願いします。よろしくご願ひ致します。
- ・ 深く考えずきめられた料金を出してました。表やグラフ等で見る事もありますがさらっと目を通すだけで年齢とともに見る事書く事もおっくうになって来ました（88才）
- ・ 最近広い施設の地下に水道水を溜める事が出来る様になりましたが、それも費用面で大変やなと思います。他に良い考えが浮かびません。どうぞよろしくご願ひ致します。